

五月廿一日

第二五號

0735

閣

軍事機密

陸軍省軍事機密第九二號

支副秘第三六號

秘密書類調製ノ件報告

昭和十一年九月廿三日 支那駐屯軍司令官

陸軍大臣 伯爵 寺内 壽一 殿

首題ノ件別紙目錄ノ通り調製セルニ付報告ス
追而別冊一部進達ス

北支軍司令部

陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部
124
陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部

陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部

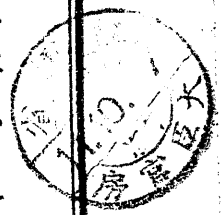
軍

9820

軍事機密

秘密書類調製目録

昭和十一年九月廿三日
支那駐屯軍司令部



陸軍

調製年月日	件名	調製部數	配布區分
昭和十一年九月十五日	昭和十一年度北支那占領地統治計畫書	自第壹號至第〇號	第壹號進達第貳、參、四號參謀本部 第五號關東軍第六號上海武官殘部 ハ軍保管ス

0737

秘第壹號

昭和十一年度北支占領地統治計畫書

附圖	附表	紙數
八枚	八枚	貳參枚

昭和十一年九月十五日調製

支那駐屯軍司令部



陸軍

附 表

附表第一 押收事務處理委員編成表

附表第二其一 中央統治部編成表

同 其二 地方統治部編成表

附表第三其一 直轄部隊並省防軍兵力編組表

同 其二 鐵道護路隊所要人員並補充要領表

附表第四其一 軍金融中樞機關設置豫定表

同 其二 支那側中央銀行配置豫定表

附表第五 占領鐵道管理系統表

附 圖

附圖第一其一 支那軍豫定配置圖（甲ノ場合）

陸 軍

附圖第一其二 支那軍豫定配置圖（乙ノ場合）

附圖第二其一乃至其四

警備部隊豫定配置要圖

附圖第三 統制スヘキ道路、水路要圖

附圖第四 同 通信網要圖

昭和十一年度北支占領地統治計畫書

第一章 總則

第一條 本計畫書ハ昭和八年九月參謀本部第二部調製支那占領地統治綱領案（以下綱領ト略稱ス）並昭和九年三月當軍調製北支占領地統治計畫（以下永久計畫ト略稱ス）ニ基キ昭和十一年度ニ應スル年度計畫ニ關スル事項ヲ定ムルモノトス

第二條 本計畫ハ左ノ場合ニ應スルモノトシテ計畫ス

其一 甲案

(一) 平津地方ヨリ平漢、津浦兩鐵道ニ沿ヒ黃河（隴海線）ノ線ニ向フ作戰ニ伴フ占領地統治

(二) 山東出兵ノ場合ヲ顧慮シ膠濟及津浦沿線ヨリ隴海線ニ向

フ作戰ニ伴フ占領地統治

（三）平綏及正太沿線ヨリ山西省ニ向フ作戰ニ伴フ占領地統治

其二乙案

（一）第一線ヲ以テ張家口、北平、天津ノ線附近ヨリ守備スル場

合ニ於テ其背後地（概テ現冀東政府管區及外長城線以南

察哈爾省中平綏線以北ノ地區）ニ對スル占領地統治

第三條 本計畫書ニ於テハ前條甲案ニ應スル如ク策定シ乙案ニ對

シテハ其特異ノ點ノミヲ記載スルモノトス

第四條 本計畫書立案ノ基礎ヨリ左ノ如ク想定ス

（一）對手國ハ甲案ノ場合ハ支那、乙案ノ場合ハ蘇支兩國トス

（二）甲乙兩案ノ場合共作戰並占領地統治ハ支那駐屯軍司令官

0741

ニ於テ統一實施スルモノトス

曰外長城線以北ノ察哈爾省並綏遠省ニハ別個ノ作戰軍行動

シ該方面ニ對シテハ該作戰軍ニ於テ別個ニ占領地統治ヲ

實施スルモノトス

四 現存スル北支諸政權ハ作戰行動開始前ヨリ所有手段ヲ盡

シ南京政府ト分離シ我意圖ニ服従スル如ク工作スルモ悉

ラク冀東政府（情況時ニ有利ナル場合ハ冀察政府）以外

ハ我意ニ從フコト無ク我作戰軍ノ前進ニ伴ヒ瓦解シテ一

時毎政府状態ニ陥ルモノト豫想ス

第二章 統治要綱

第五條

昭和十一年度占領地統治ノ方針ハ速ニ統治地域内ノ治安ヲ確立シ以テ作戰軍ノ兵力節約ヲ期スルト共ニ我國防用資源ノ獲得ヲ容易ナラシメテ兼テ滿洲國並内蒙方面ニ作戰スル軍ノ背後ヲ安全ナラシムルニアリ

之レカ爲現存スル支那側政權ハ軍ノ威力ニ依リ我意圖ニ合スル如ク指導シ服從ヲ肯セサルモノハ打倒シテ新政權ヲ擁立シ之ヲ助成シテ安寧秩序ヲ維持セシムルト共ニ我國ヲ中核トスル日滿支經濟ハプロツクニ確立シ不足資源ノ獲得並國內生産品ノ販路擴張等ニ協力セシメ以テ戰爭遂行ニ支障ナカラシムルモノトス（綱領第三）

陸軍

第六條 綱領第五ニ示ス押收事務ヲ處理スルタノ軍司令部ニ押收

事務取扱委員ヲ設ク、其編成附表第一ノ如シ

押收スヘキ物件ハ永久計畫附録第五ニ依ル

第七條 現在ノ北支諸政權中冀東政府ハ其儘持續セシメ冀察並山

東省及山西省政府ノ如キモ成ルヘク我意圖ニ從フ如ク工作

スルモ成功セサル場合ニ於テハ之ヲ打倒シテ新政權ヲ擁立

スルモノトス此場合ニ於テハ一時政治機關ノ作用中絶スル

ニ至ルヲ以テ軍並各部隊ハ成ルヘク速ニ各地方毎ニ臨時治

安維持會ヲ設立シテ治安ノ維持ニ任セシメ逐次其内容ヲ改

善スル如ク指導シ確實ナルモノハ漸次地方政權ニ擴充セシ

ムルモノトス（綱領六）

第三章 要則

第八條 網領第十三ニ掲ケル占領地統治ニ際シ警備上海軍ト協力

スヘキ地域ヲ左ノ如ク豫定ス而シテ警備ニ際シテハ陸上ハ

陸軍、海面ハ海軍ニ於テ警備スルモノトス

塘沽港、青島港、秦皇島港

陸軍

第四章 統治地域及管區

第一款 統治地域

第九條 統治地域ヲ左ノ如ク定ム（綱領第一六）

甲案

(1) 冀察地區

河北省、北平天津兩特別市、外長城線以南ノ察哈爾省、
黃河以北ノ河南省

(2) 山東地區

山東省及青島特別市

(3) 山西地區

山西省

陸軍

現冀東政府管區並外長城線以南ノ察哈爾省中平綏線（含ム）以北ノ地區

第二款 警備管區及部隊

第十條 統治地域内ニ於ケル警備管區ノ設定區分ハ占領當時ノ情

勢ニ依リ軍司令官之ヲ定ムヘキモ其概要ヲ豫定スルコト左ノ如シ（綱領第一七）

(1) 軍カ黄河（隴海線）ノ線ニ向ヒ作戰行動實施間

此場合ニ於テハ作戰初期黄河以東ノ山東省ト其他ノ地區トニ又隴海線ニ進出後ハ山東省ト其他ノ地區トニ兩分シ前者ハ山東上陸師團ノ兵站監（該師團ハ兵站部ヲ有スル

モノトス）後者ハ軍兵站監ニ於テ警備ヲ擔任ス

(2) 軍カ所命ノ作戰目標ニ到達シ其作戰一段落ヲ告ケ主力ヲ

以テ占領地域内ノ各要點ニ駐屯スルニ至レル場合

此場合ニ於テハ警備管區ヲ第十四條ニ掲クル新政權擁

立地區ノ區分（冀察地區、山東地區、山西地區）ニ一

致セシノ各地區内ニ駐屯スル部隊ノ高級指揮官ヲ以テ

警備司令官トス

第十一條 統治ノ爲各警備管區ニ駐屯セシムヘキ我兵力ハ統治開

始當時ノ全般的情勢ニ基キ決定セラルヘキモ之ヲ豫定ス

ルコト左ノ如シ（綱領第一九、第二〇）

(1) 前條(1)ノ場合

軍兵站監並山東上陸師團兵站監ヲシテ兵站所屬ノ後備隊
 ヲ以テ警備ニ任セシム（所要兵力ハ軍兵站部ニ後備歩兵
 九大隊、同騎、砲、工兵各二中隊、陣地高射砲六隊、山
 東上陸師團兵站部ニ後備歩兵三大隊、同騎、砲、工兵各
 一中隊、陣地高射砲三隊トス）此場合直轄部隊ハ設ケサ
 ルモノトス（本計畫書第十八條参照）

(2) 前條(2)ノ場合

當時ノ情況就中軍司令官ノ隸下ニ存置セシノラルル兵力
 ノ大小並地域内治安維持ノ狀況等ヲ顧慮シ軍司令官之ヲ
 定ム

陸軍

第五章 統治機關及新政權ノ指導

第一款 統治機關

第十二條 中央及地方統治部ノ編成ヲ附表第二其一其二ノ如ク豫

定ス

第十三條 地方統治部ハ第十條(1)ノ場合ニ於テハ中央統治部直轄

トシ同條(2)ノ場合ニ於テハ警備司令官ニ隸屬スルモノト

ス(綱領第二三)

第二款 新政權ノ指導

第十四條 在來政權ヲ助成シ或ハ新政權ヲ擁立スヘキ地區ノ區分

ヲ左ノ如ク豫定シ占領當時ノ現況ニ應シ軍司令官ニ於テ

要スレハ適宜變更決定スルモノトス(綱領第二十七)

甲案ノ場合

冀察政府

河北省、北平天津兩特別市外長城線以南ノ察哈爾省並黃河以北ノ河南省ヲ其管區トシ現在ノ冀察政府カ我意圖ノ如ク行動スルトキハ之ヲ以テ統治機關トシ（冀東政府ヲ合併ス）然ラサルトキハ之ヲ打倒シ現冀東政府ヲ擴大シ之ヲ以テ統治機關トナス

政府所在地ヲ北平トス

山東省政府

山東省、青島特別市ヲ以テ山東省政府ノ管區トシ新政權ヲ擁立ス政府所在地ヲ濟南トス

山西省政府

管區ハ山西省一圓トシ新政權ヲ擁立ス

政府所在地ヲ太原トス

乙案ノ場合

概テ現冀東政府ノ管區並外長城線以南ノ察哈爾省中平綫以北ノ地區トシ現冀東政府ヲ以テ統治機關トス政府所在地ヲ唐山トス

第十五條 前記甲案ノ場合ニ於テ各地方政權ハ占領地統治開始當

初ハ通常之ヲ各個ニ操縦シ情況之ヲ許スニ至リ彼此連衡

シテ中央政權ヲ結成セシノ統一指導スルモノトス

第十六條 中央政權ノ組織ハ委員制トシ其細部ハ當時ノ情況ニ依

リ之ヲ定ム（永久計畫第三〇乃至三四）

第三款 支那軍及其指導

第十七條 中央政權直轄部隊及省防軍ノ兵力編組ハ統治地域ノ一

般情勢ニ依リ之レヲ定ムルモ其概要ヲ豫定スルコト附表

第三其一ノ如ク其配置ヲ豫定スルコト附圖第一其一其二

ノ如シ（綱領第三三永久計畫第四一）

第六章 警備及治安

第十八條 我警備部隊ヲ如何ニ配置スヘキヤハ狀況ニ依ルモ其概

要左ノ如シ（綱領第三五、第三六）

(1) 第十條(1)ノ場合

此場合ニ於テハ野戰軍ノ背後連絡線ノ確保ニ重點ヲ置キ警備部隊ハ兵站線路（鐵道）ニ沿ヒ分散配置シ以テ

鐵道並其沿線附近ノ警備及治安維持ヲ主眼トス

兵力配備ノ豫定附圖第二其一乃至其四ノ如シ

鐵道警備兵力ノ不足ヲ補フタノ使用スヘキ支那側護路

隊ノ人員並其補充要領附表第三其二ノ如シ

(2) 第十條(2)ノ場合

此際ハ統治地域全般ノ治安維持ヲ目的トシ左記要旨ニ依リ警備部隊ヲ配置ス

(イ) 軍直轄部隊ハ概ネ軍司令部所在地(天津)ニ置ク

(ロ) 警備司令官配屬部隊ハ主力ヲ省政府所在地(北平

太原、濟南)ニ置キ所要ニ應シ一部ヲ警備管区内

ノ重要地點ニ分置ス

(ハ) 鐵道ノ警備ハ各警備管區毎ニ其管内ニ在ル鐵道ニ

對シ日本軍(所要ノ護路隊ヲ屬ス)ヲ以テ警備ス

第十九條 保安ノ爲支那側公安局ニ對スル邦人指導者ノ配置豫定

ハ永久計畫第四八ノ如シ(綱領第三八)

第二〇條 占領直後保安七軍ノ採ルヘキ處置ノ概要ハ永久計畫第

0756

17

五二乃至五九ノ姐シ

陸
軍

第七章 資源ノ獲得

第廿一條 軍需工業並資源調達ノ爲軍司令官ニ於テ管理掌握スヘ

キ工場及事業場並管理者配當ノ豫定ハ永久計畫附録第十

第十一ニ依ル (綱領第四四)

第廿二條 資源管制ノ要領ハ永久計畫第九八乃至第一〇〇ニ依ル

(綱領第四一)

第八章 統治費及金融

第廿三條

占領地統治ニ要スル諸經費ハ自給自足セシムルヲ主眼トシ左ノ方法ニ依ルモノトス（綱領第四八）

（一）中央政權並其直轄部隊所要經費ハ鹽稅、關稅、鐵道收入其他從來中央政府ニ收納シアリシ諸稅並借入金、公債ノ發行等ニ依ル諸收入ニ就キ大本營ノ指示ニ依リ之ヲ支辨ス（綱領第五二）

（二）地方政權並省防軍所要經費ハ地方稅ニ依リ支辨ス但シ統治開始當初其他情況ニ依リ地方稅收不足ナル場合ニ於テハ大本營ノ指示ニ依リ前項ノ收入等ヲ以テ補助スルコトアリ（綱領第五三、永久計畫第一一〇）

陸軍

20 第廿四條 統治地域内ノ資金流出ヲ防止スルタノニ永久計畫第一

一四ニ掲ケル手段ノ外爲替送金ヲ伴ハサル輸出ノ制限ヲ

實施ス（綱領第五四、永久計畫第一一四）

第廿五條 軍金融中樞機關トシテ日本銀行代理店ヲ附表第四其一

ノ如ク設置シ尙一般金融回復ヲ速ナラシムル爲ニ朝鮮銀

行ヲ進出セシノ其銀行券（金券）ノ流通ヲ圖ルモノトス

第廿六條 支那側金融中樞機關トシテ河北省銀行（乙案ノ場合ニ

ハ冀東銀行）ヲ新政權ノ中央銀行トシ之ヲ中心トシテ金

融機構ヲ組成ス

爾餘ノ銀行及發券機關（銀號、錢鋪、當等）ノ既發兌換

券ハナルヘク速ニ適當ナル交換率ヲ決定シ該銀行ヲ通シ

新中央銀行券ヲ以テ回收整理ス（綱領第五六）

第廿七條 支那側中央銀行タル河北省銀行（乙案ノ場合ハ冀東銀

行）ノ配置ヲ附表第四其二ノ如ク豫定ス（永久計畫第一

一七）

陸
軍

第九章 運輸交通及通信

第廿八條 統治地域内ニ於ケル鐵道ハ軍司令官ニ於テ之ヲ管理ス

(綱領第五八)

右管理ノタリ軍配屬ノ鐵道聯隊長(乙案ノ場合ニ於テハ

軍ニ配屬セラレヘキ鐵道關係將校)

ヲ註、軍ニハ甲案ノ場合鐵道一聯隊ヲ、乙案ノ場合ニハ

鐵道部隊ノ配屬ナク鐵道關係將校若干ヲ配屬セラ

ルルモノト想定ス

ヲ長トシ是ニ軍參謀並所要ノ邦人及支那人ノ鐵道職員ヲ

屬シ鐵道管理部ヲ設ケ各鐵道ノ運用ヲナサシム

第廿九條 統治地域内ニ於ケル鐵道行政ハ現存ノ組織ヲ採用シ各

鐵道管理局ヲシテ軍鐵道管理部ノ命ヲ受ケ業務ニ從事セシム（綱領第五九）

然レトモ第一線ニ近キ鐵道ハ鐵道聯隊（乙案ノ場合ニハ軍工兵隊ノ一部）ヲ以テ運行ニ任セシメ又逃亡其他ニ依ル在來從業員ノ不足ハ内地鐵道及滿鐵等ノ從業員ヲ以テ編成セララルル鐵道管理班ヲ以テ之ヲ補ケモノトス

第三〇條 占領鐵道ノ管理系統附表第五ノ如シ

第三一條 軍司令官ニ於テ利用ヲ統制スヘキ主要道路並水路（港

灣ヲ含ム）附圖第三ノ如シ（綱領第六〇第六一）

第三二條 軍司令官ニ於テ管理スヘキ主要ナル有線及無線通信並

海底線附圖第四ノ如シ（綱領第六二）

陸軍

第三三條 北支ニアル中國航空會社（米支合辦）並歐亞航空會社

（獨支合辦）ノ航空ハ中止セシメ之ニ代フルニ日支合辦

ノ航空會社（近ク設置セラルル東方航空股份有限公司）

ヲ以テス（綱領第六七）

第十章 立法及司法

第三四條 立法及司法ニ關シテハ永久計畫第一五八乃至一六七ニ

依ル

第三五條 軍法會議、同分廷並軍事法廷ノ設置ヲ豫定スルコト左

ノ如シ

軍軍法會議 天津（乙案ノ場合ハ北平）

同 分廷 各師團司令部所在地（乙案ノ場合ハ設置セ

ス）

軍事法廷 北平、濟南、太原（乙案ノ場合ハ唐山）

陸軍

第十一章 外事

第三六條 占領地統治ニ關スル一切ノ涉外業務ハ中央統治部内ニ設クル外事部ヲシテ之ヲ處理セシムルモノトス（該部ハ兼ネテ支那側政權ノ涉外事務ヲ指導監督スルモノトス）
（綱領第七三、本計畫書第十二條）

第三七條 綱領第七四ニ掲ケル中立國權益ノ回收ニ當リテハ國際紛争ヲ惹起セシメサル如ク考慮スルモノトス尙統治地域内ニ居住スル中立國ノ官民ニ對シテハ之ニ十分ナル保護ヲ與フルモノトス

第三八條 蘇聯ノ國籍ヲ有スル者並蘇聯ニ好意ヲ有スル中立國官民ニ對シテハ十分ナル監視ヲ行ヒ要スレハ之ニ退去ヲ命

9940

27

シ以テ其間諜的行爲ヲ阻止スルモノトス

第十二章 宣撫

陸軍

第三九條

占領地ニ於ケル言論統制ノタメ日本同盟通信社ヲ以テ
内外通信ノ中核ヲ成形セシムルト共ニ現在ノ漢字新聞中
左記ノモノヲ以テ軍ノ機關紙トシ宣傳及宣撫ニ用フルモ
ノトス（乙案ノ場合ニハ天津、北平及唐山トス）（綱領
第七八）

天津 庸報 益世報

北平 新興報 北京商報

濟南 山東民國日報

青島 大青島

太原 太原日報

唐山（乙案ノミ） 唐山工商日報

英字新聞ハ現存スルモノハ英米系統ニシテ之ヲ買収セシ
トスルモ應スル見込尠キヲ以テ占領地統治ニ際シ天津（
乙案ノ際ハ唐山）ニ新ニ創刊スルモノトス

第四〇條 右ノ外宣撫及宣傳ニ關シテハ永久計畫ニ依ル

第十三章 其他

第四一條 監察、殖産興業、教育、宗教及衛生ニ關シテハ永久計

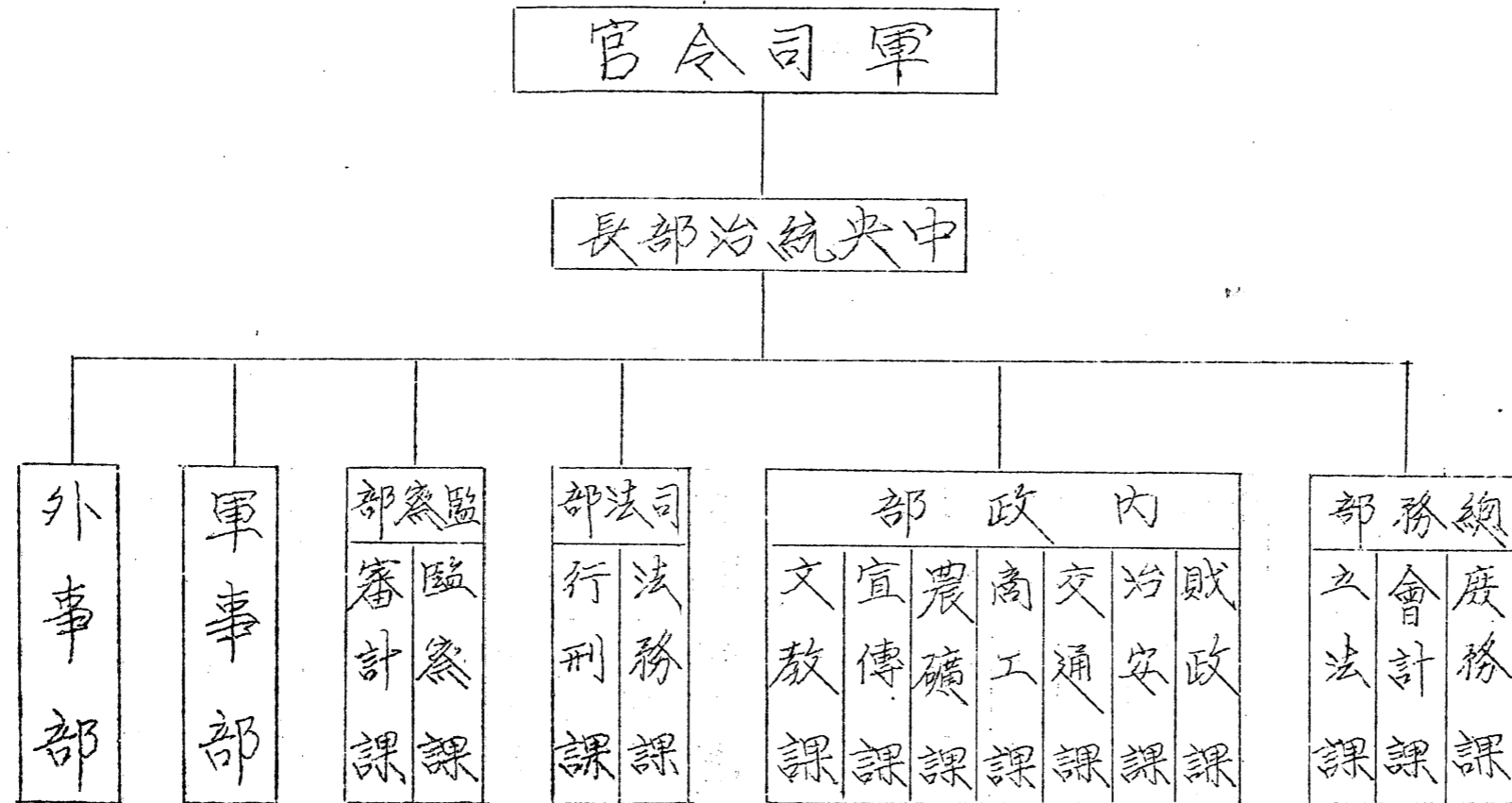
畫ニ依ル

陸軍

附表第一

押収事務處理委員編成表

考	備 一本委員、編成ハ一時的ニシテ委員ハ全部兼務トス	軍副官部		所屬人員		委員長		
		高級副官		所屬人員		委員		
		軍倉庫	經理部	調查班	第三課	參謀部	參謀部	參謀
		主計正	主計正	主計正	部附	參謀	參謀	參謀
		軍倉庫	經理部	參謀部		所屬人員	附屬	
		計手	計手	通譯	書記	人員	人員	



附表第二其ハ
中央統治部編成表

編成要領

一 中央統治部長ハ松室少将トシ現在、松室公館、人員ヲ之ニ屬ス

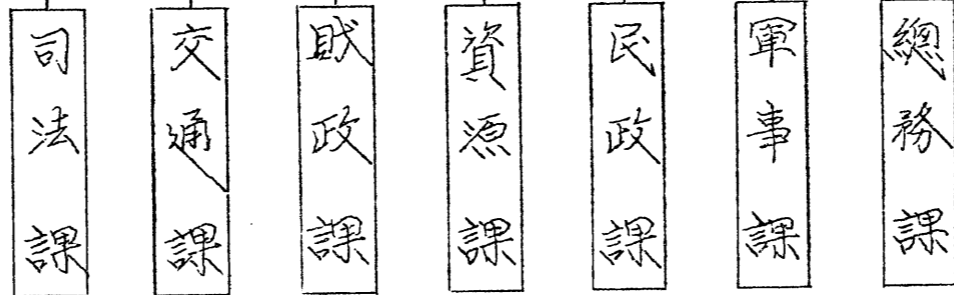
二 各部、部長ハ現在、莫察及莫東政府顧問又ハ駐屯軍司令官部顧問以テ之ニ充テ

三 各課長並ニ課員ハ前記顧問、残余及滿鉄社員又ハ滿洲國日系官吏等ヨリ補充スルモノトス

四 各課、編成ハ課長ハ課員ハ乃至三、通譯ハ乃至四、書記ハ乃至四ト豫定ス

中央警備文官
統治部
長官

地方統治部



附表第二其二
地方統治部編成表

編成要領

一 地方統治部長ハ在、如ク豫
定ス

冀察 福州特務機關長

山西 太原特務機關長

山東 濟南特務機關長

二 各課ハ概テ課長一、課員一
乃至二、通訳一乃至三、書記
二乃至四、ヨリ成ル

三 課長及課員ハ滿鉄社員

滿洲國日僑官吏等ヨリ

補充スルモノトス

四 乙案ノ場合ニ於テハ地方統
治部ヲ設ケ、現在ノ縣廳
間名日本人ヲシテ各縣ノ
指導ヲナサシム

附表第三其二

支那鐵道護路隊所要人員並補充要領表

考 備	戰時補充要領	正太		平漢		津浦		平綏		膠濟		北寧		名 區 間	線 路	
		石太	原大	平河	北黃	天韓	灤庄	平鎮	北豐	青濟	島南	平關	北山			
一 本表、戰時所要人員ハ附圖第二其四、配備ニ於ケル所要人員トス 二 本表、護路隊ハ日本軍守備大(中)隊ニ配屬シ其、指揮、許 三 服務スルモノトス	一 不足四千人ハ冀東政府、第一乃至第四總隊(各ニ六大隊ノ 三千人)中ヨリ各ニ大隊(千人)宛選抜抽出シテ之ニ充ツルモ ノトス	96	2,000	1,880	750	1,840	2,000	人員	平時護路隊人員	1	1	1	1	人員	人員	
		0.4	3.0	3.0	1.8	5.0	4.7	人員當	人員	1	1	1	1	人員	人員	
		1/2	1/2	1/2	1/2	2/3	3/4	人員	戰時時	人員	1	1	1	1	人員	人員
		50	1,000	900	370	1,200	1,500	人員	人員	人員	人員	人員	人員	人員	人員	人員
		1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	人員	戰時所	人員	人員	人員	人員	人員	人員	人員
		—1,450	—500	—600	—1,130	—300	±0	人員	戰時時	人員	人員	人員	人員	人員	人員	人員
									人員	戰時時	人員	人員	人員	人員	人員	人員
										人員	戰時時	人員	人員	人員	人員	人員
約 四 千 人																

附表第四其一

軍金融中樞機關設置豫定表

北平、天津、青島、太原、張家口、濟南、通州（甲安ホ）
 北平、天津、唐山（乙案場合）

備 一日本銀行代理店、正金銀行支店ヲ以テ之ニ充ツ

二正金銀行ハ目下天津、北平、青島ニ支店ヲ
 有シ日銀、代理ヨナシアリ

考

附表第四其二

察哈爾省		山西省		山東省		河北省		豫 定 位 置	支那側中央銀行配置豫定表(甲案、場合)
懷 來	張家口	離石、平定、襄垣	太原、大同、洪洞、輝城、澤州	濰縣、臨沂、龍口、臨清	青島、濟南、芝罘、滋陽、淄川	滄州、南宮、大名、昌黎	天津、唐山、秦皇島、塘沽、通州、保定、石家莊		
出張所	支店	出張所	支店	出張所	支店	出張所	支店	本店	区分

支那側中央銀行配置豫定表（乙案場合）				豫 定 位 置		河北省	
						冀東地区	
分庫	支店	本店	区分	唐山	秦皇島、塘沽	昌黎	

河南省		新郷、彰徳	
道、口鎮		出張所	
考 備	中央銀行ハ河北省銀行トシ冀東銀行ハ之ニ合併ス ルモノトス		

備考

一、津浦線以外、管理局内、区分を概し津浦線ノモノニ同シキヲ以テ省略ニアリ

二、處内、各課、区分之ヲ省略ス

軍司令部

軍鐵道管理部

津浦鐵路管理局

天津辦事
處ヲ以テ管
理局トナス


各種委員會

- 同蒲鐵路管理局 (太原)
- 正大鐵路管理局 (石家莊)
- 膠濟鐵路管理局 (青島)
- 平綏鐵路管理局 (北平)
- 北寧鐵路管理局 (天津)
- 平漢鐵路管理局 (駐平辦事處ヲ以テ管理局トナス)

- 會計處
- 稅務處
- 車務處
- 工務處
- 總務處
- 總稽查室
- 秘書室

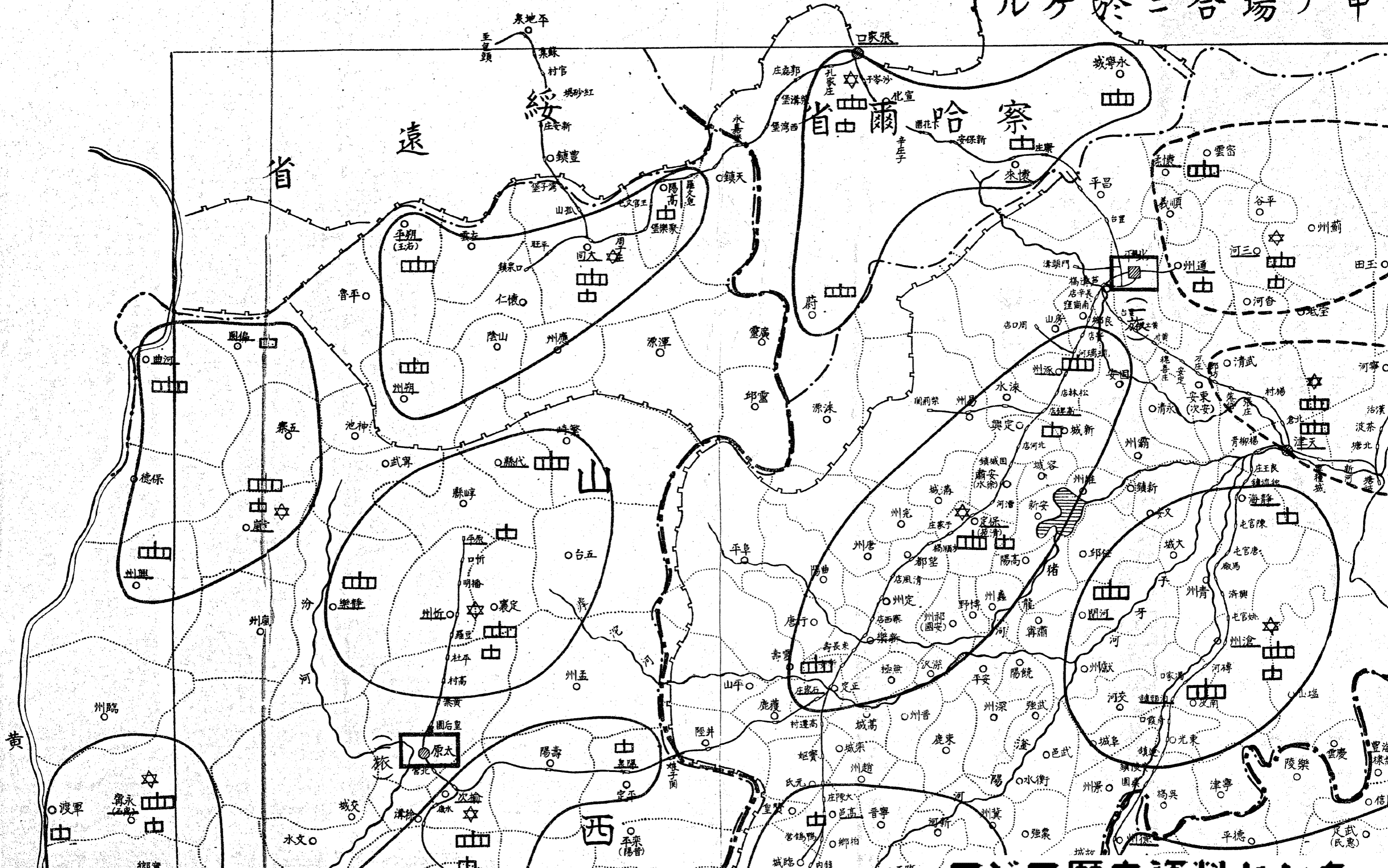
附表第五
白領地鐵道管理系統表

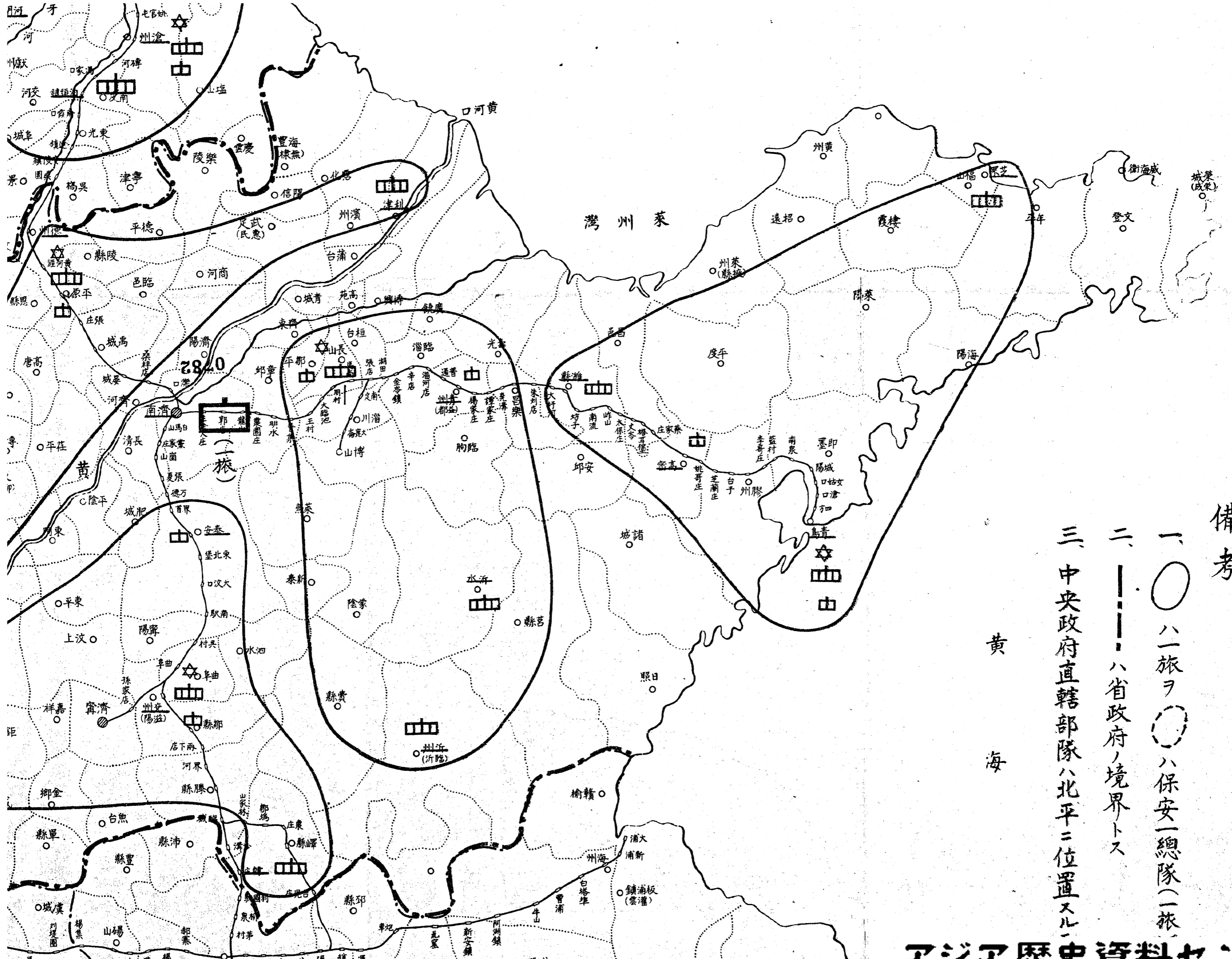
分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影順序	<table border="1" data-bbox="582 488 954 801"><tr><td>7</td><td>8</td><td>9</td></tr><tr><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr><tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr></table>	7	8	9	4	5	6	1	2	3
7	8	9								
4	5	6								
1	2	3								
分割撮影 した 理由	A 3判以上のため									
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>8 年 12 月 10 日</p> <p>主務者又は 撮影立会者 坂根嘉和 </p>										

軍豫定配置要圖

甲ノ場合ニ於テ

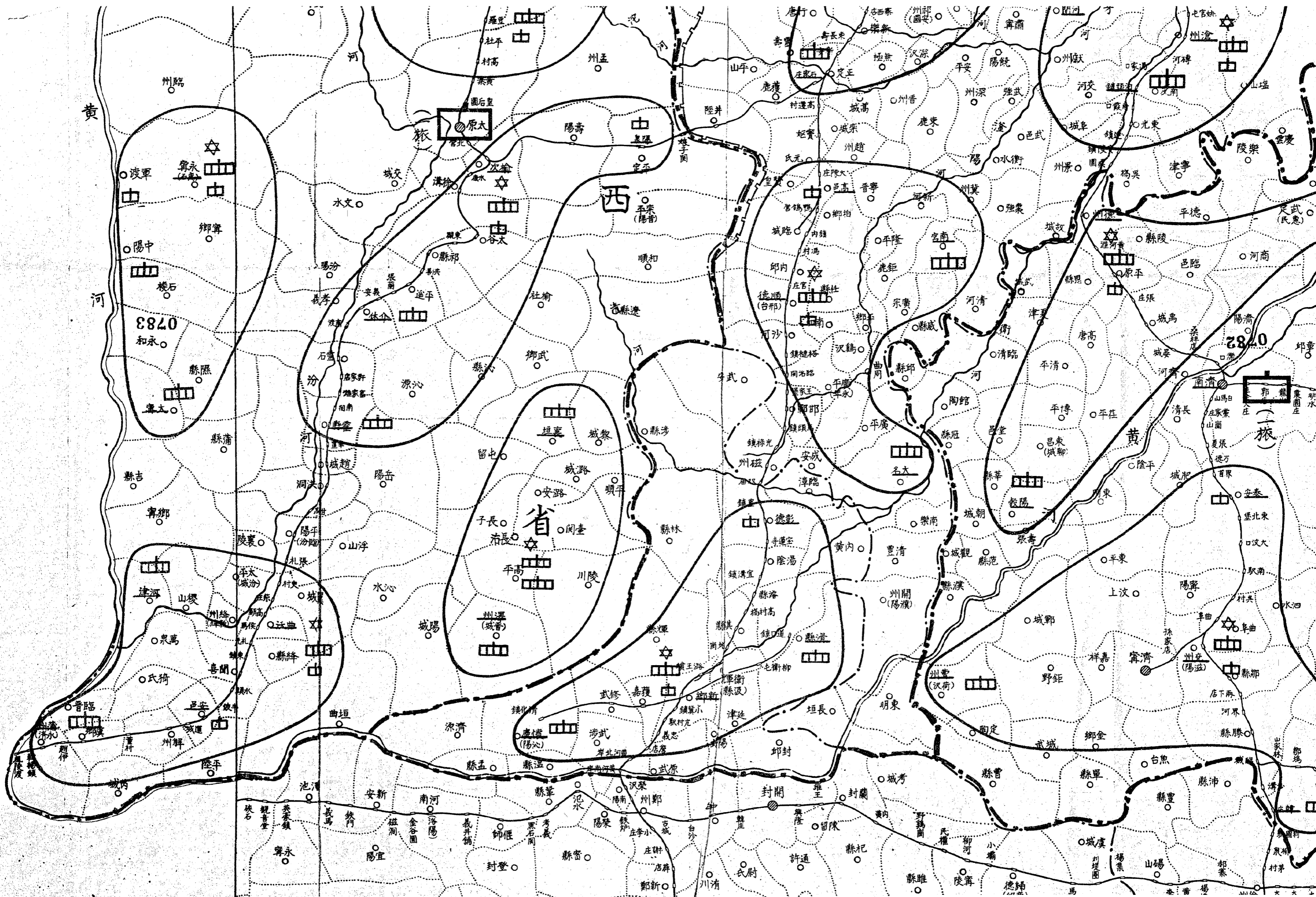


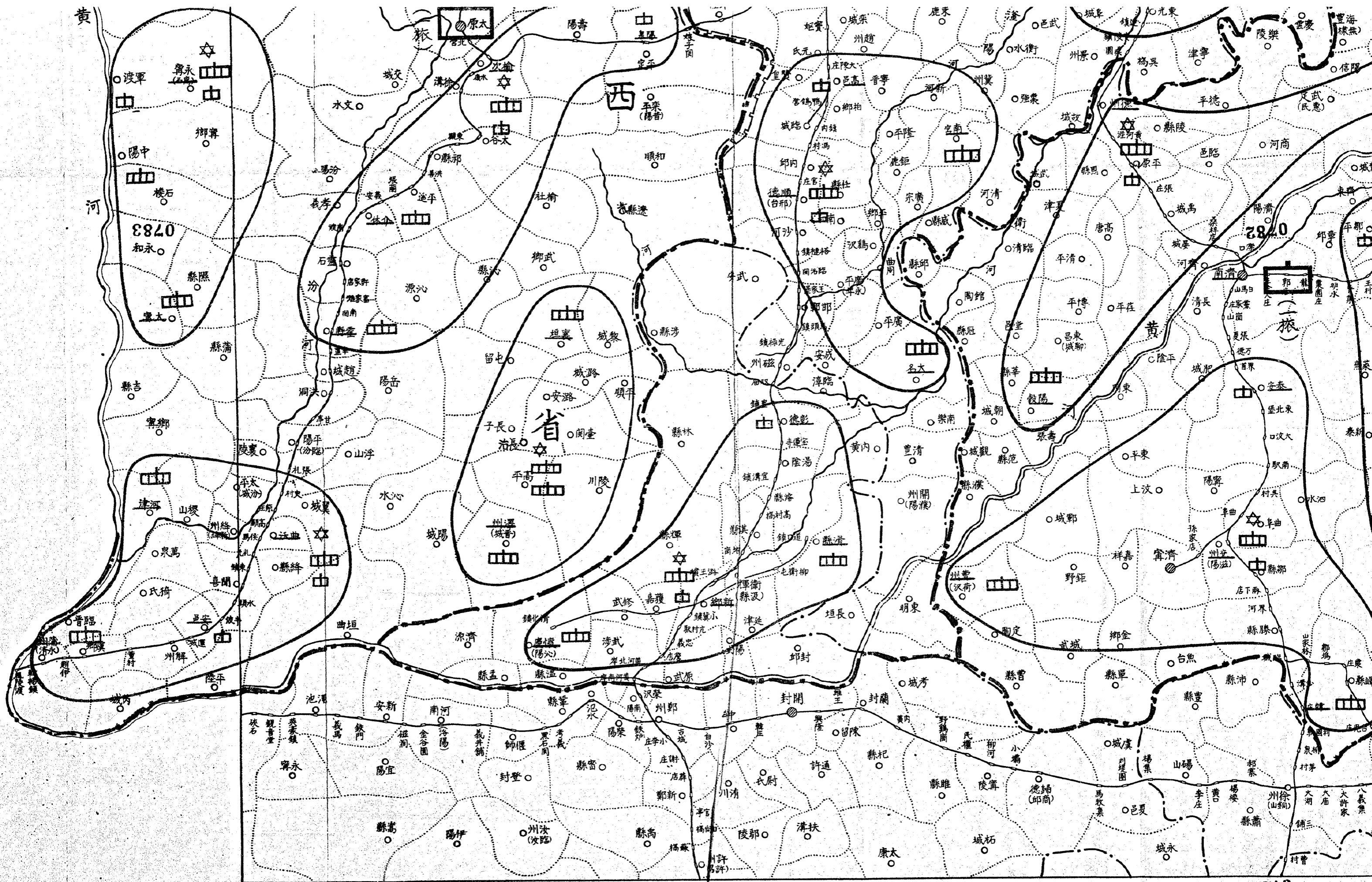


備考

- 一、○ハ一旅ヲ
- 二、○ハ保安一總隊(一旅)
- 三、---ハ省政府ノ境界トス
- 三、中央政府直轄部隊ハ北平ニ位置スル

黄海






9840

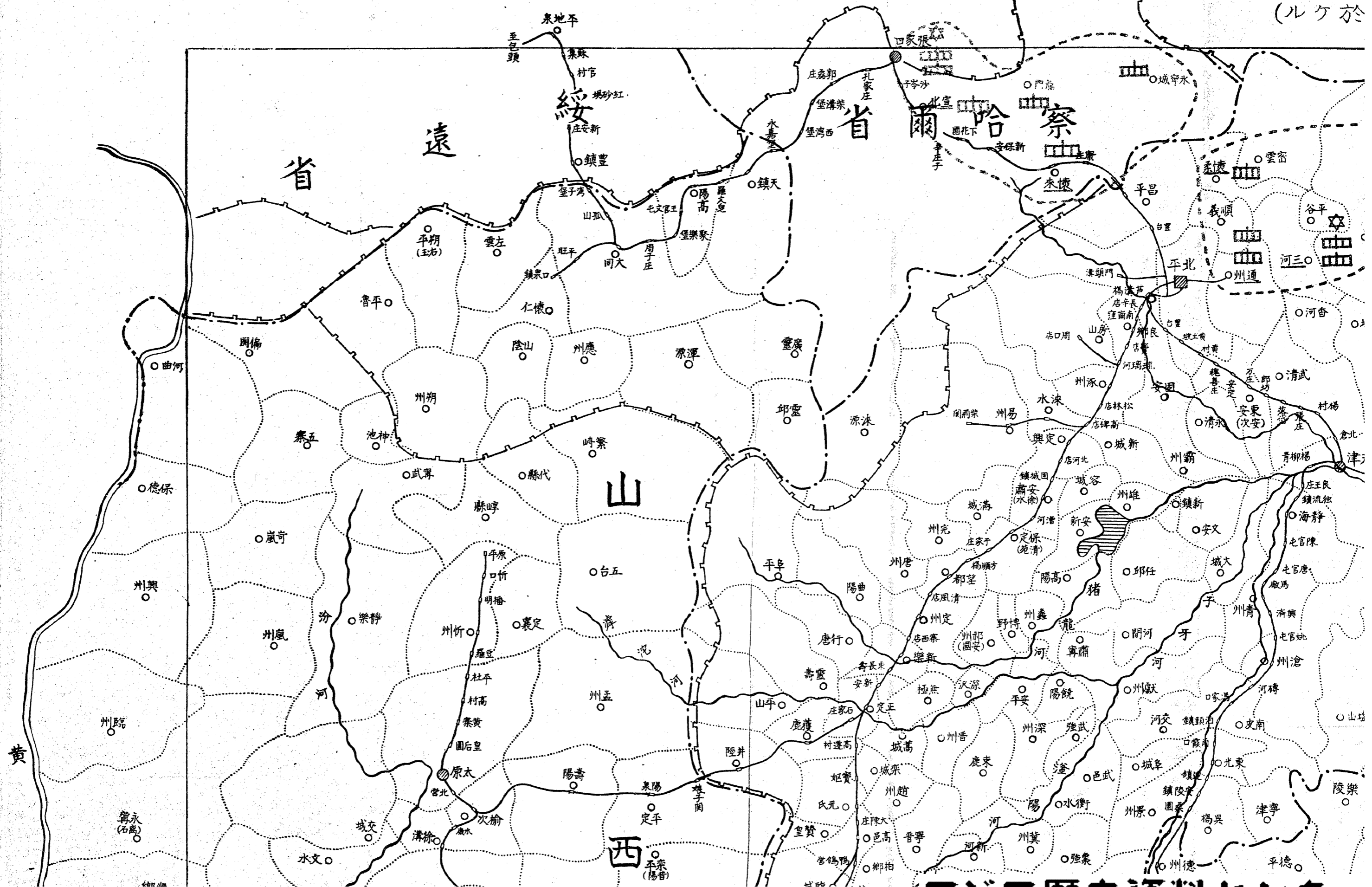
9840

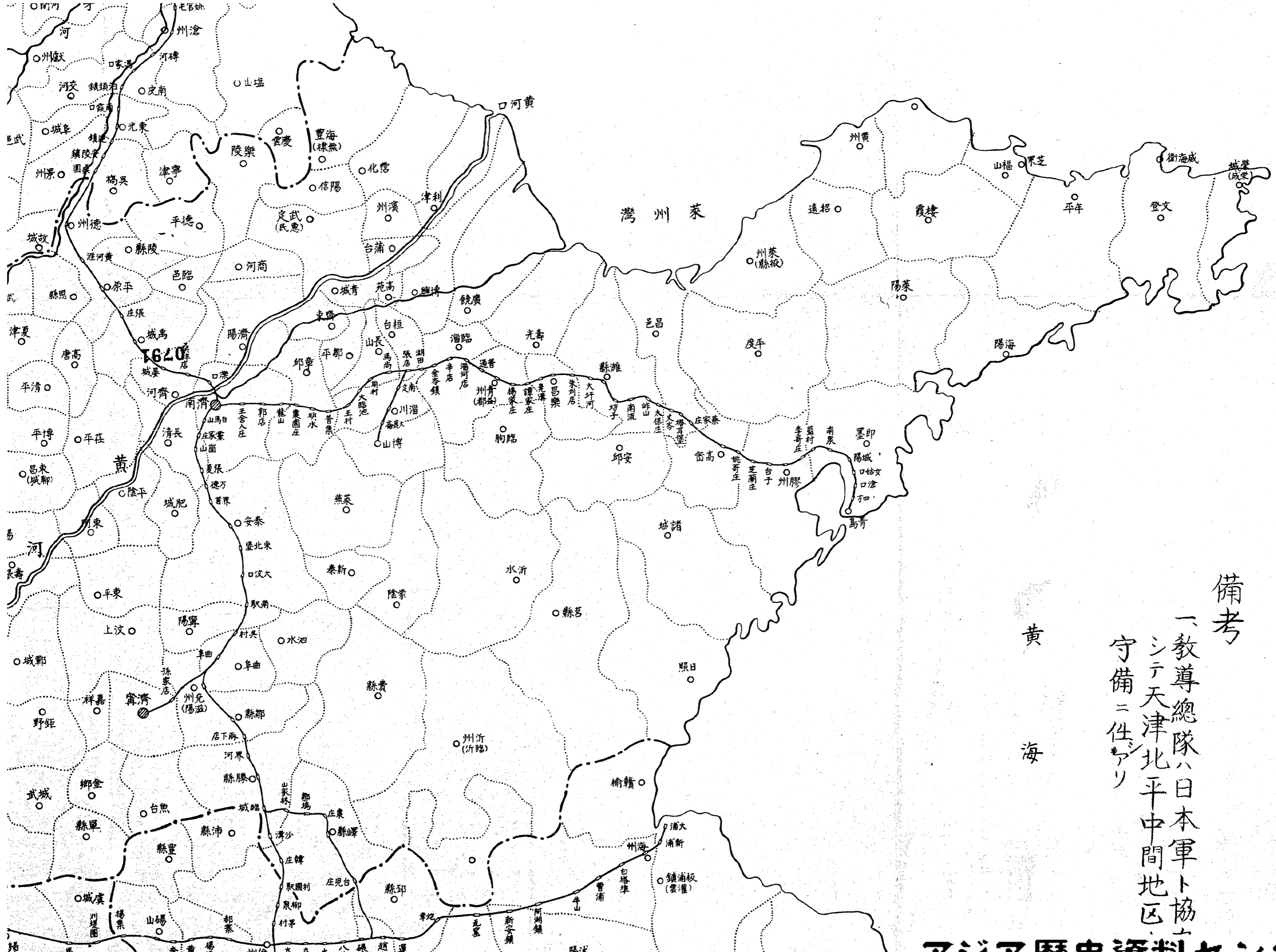
8840

附圖 第一 其一

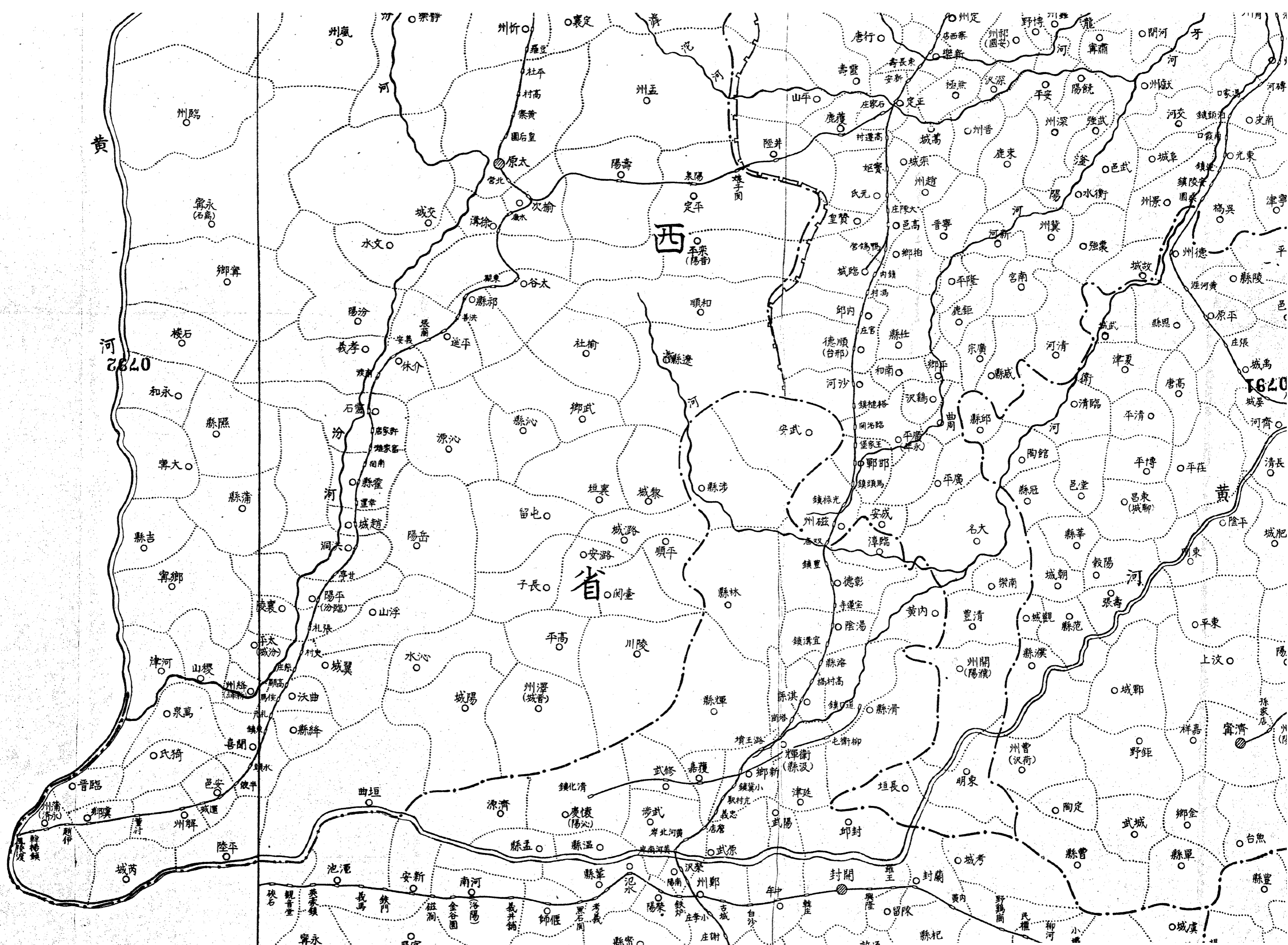
分割撮影ターゲット

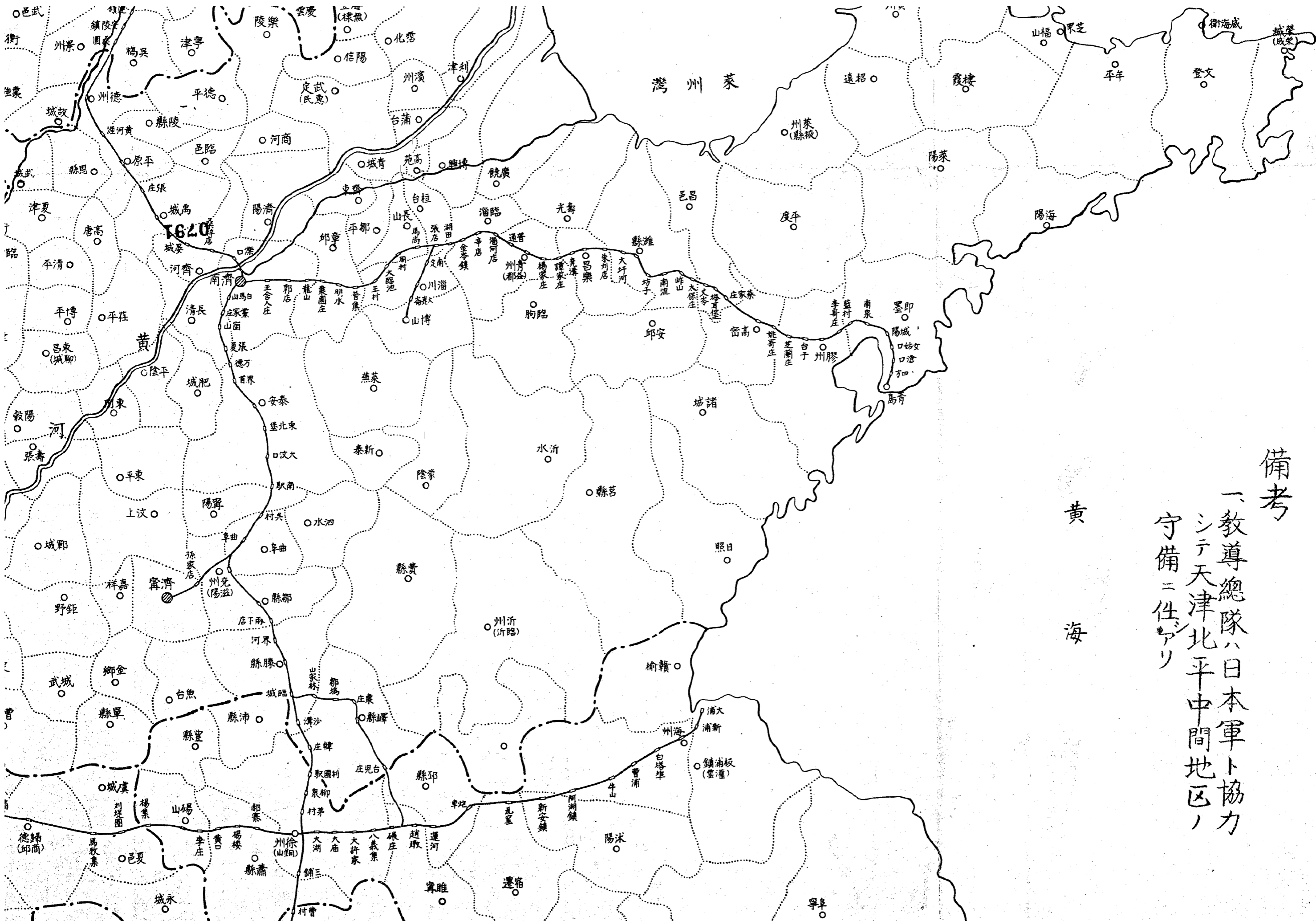
分割した 部分の撮 影順序	<table border="1" data-bbox="577 450 900 808"><tr><td>5</td><td>6</td></tr><tr><td>3</td><td>4</td></tr><tr><td>1</td><td>2</td></tr></table>	5	6	3	4	1	2
5	6						
3	4						
1	2						
分割撮影 した 理由	A 3判以上のため						
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>8 年 12 月 10 日</p> <p>主務者又は 撮影立会者 坂根嘉和 </p>							





備考
 一教導總隊ハ日本軍ト協
 シテ天津北平中間地区
 守備ニ任セリ

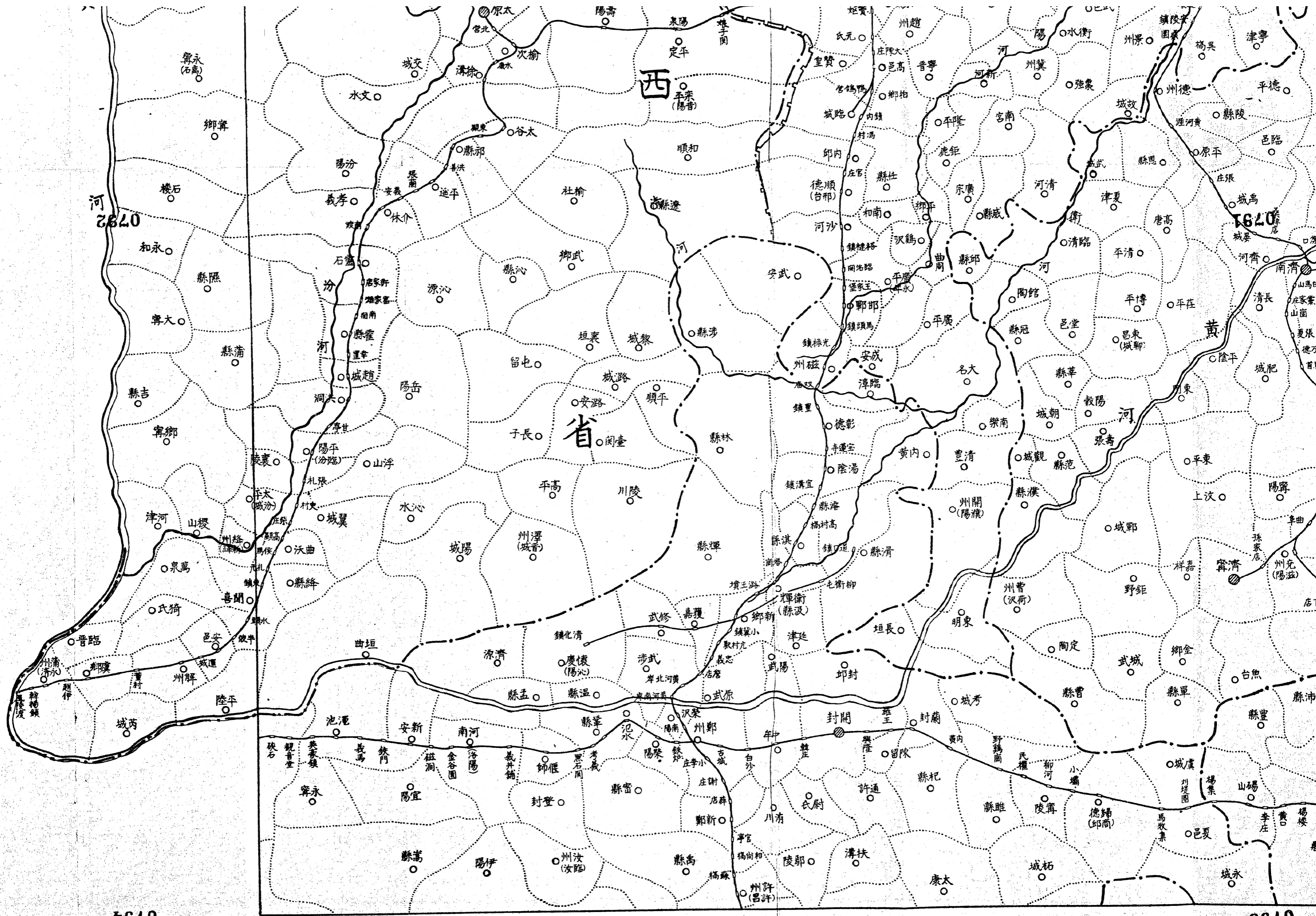




備考

一教導總隊ハ日本軍ト協力
シテ天津北平中間地区ノ
守備ニ任セリ

黄
海



2820

1620


0794

0293

0795

附圖第一其二

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影順序	<table border="1" data-bbox="584 450 903 808"><tr><td>5</td><td>6</td></tr><tr><td>3</td><td>4</td></tr><tr><td>1</td><td>2</td></tr></table>	5	6	3	4	1	2
5	6						
3	4						
1	2						
分割撮影 した 理由	A 3判以上のため						
上記のとおり分割撮影したことを 証明する 8 年 12 月 10 日 主務者又は 撮影立会者 坂根嘉和 							

警備部隊豫定配置

(第一線彰德濟南線)

附圖第二其一

警備兵力

一、軍兵站監所屬

後備步兵 九大

同 騎兵 二中

同 砲兵 二中

同 工兵 二中

陣地高射砲 六隊

護路隊 千五百名

二、山東師團兵站監所屬

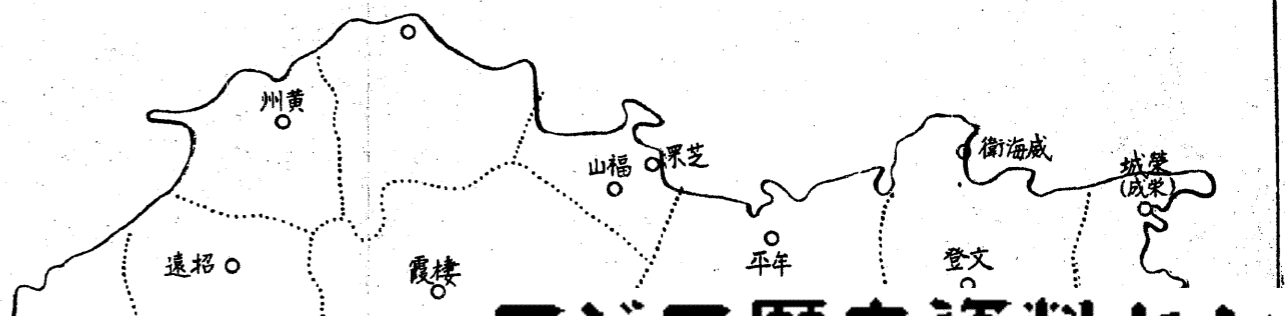
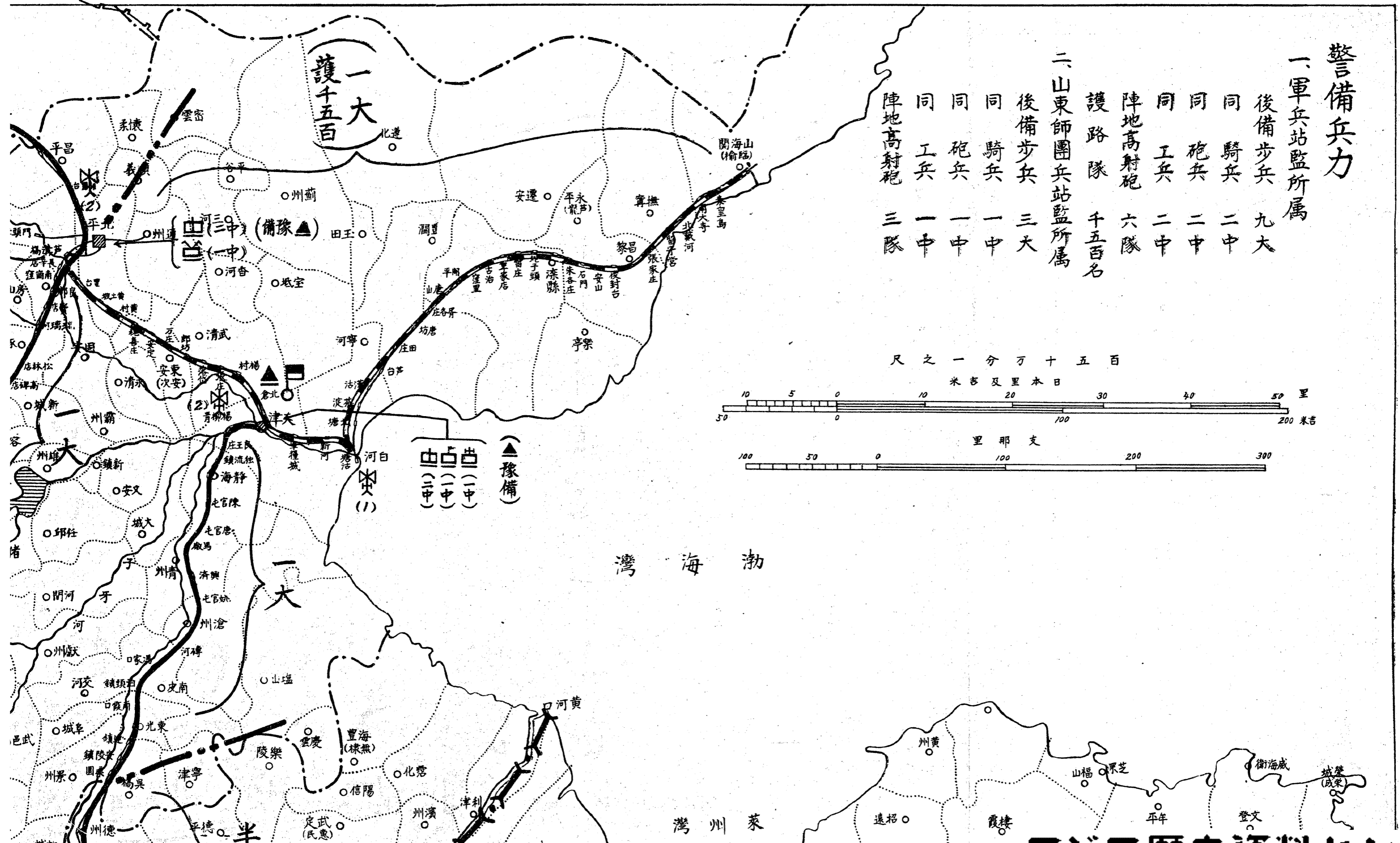
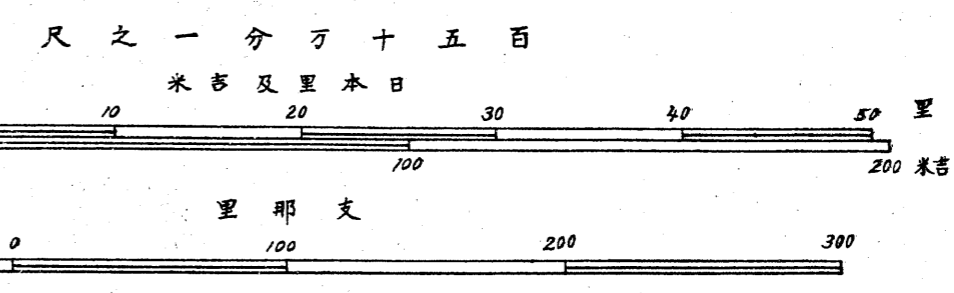
後備步兵 三大

同 騎兵 一中

同 砲兵 一中

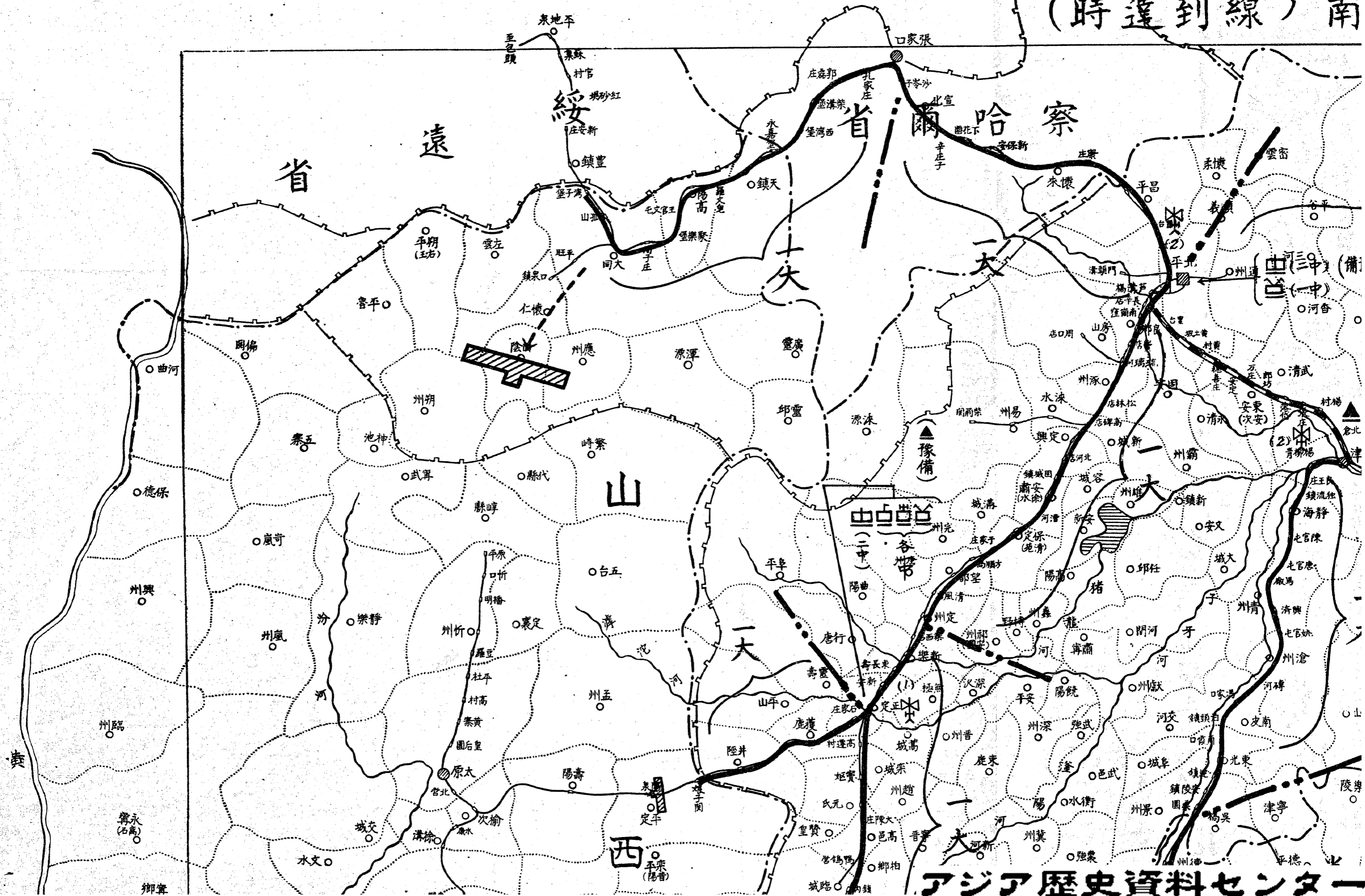
同 工兵 一中

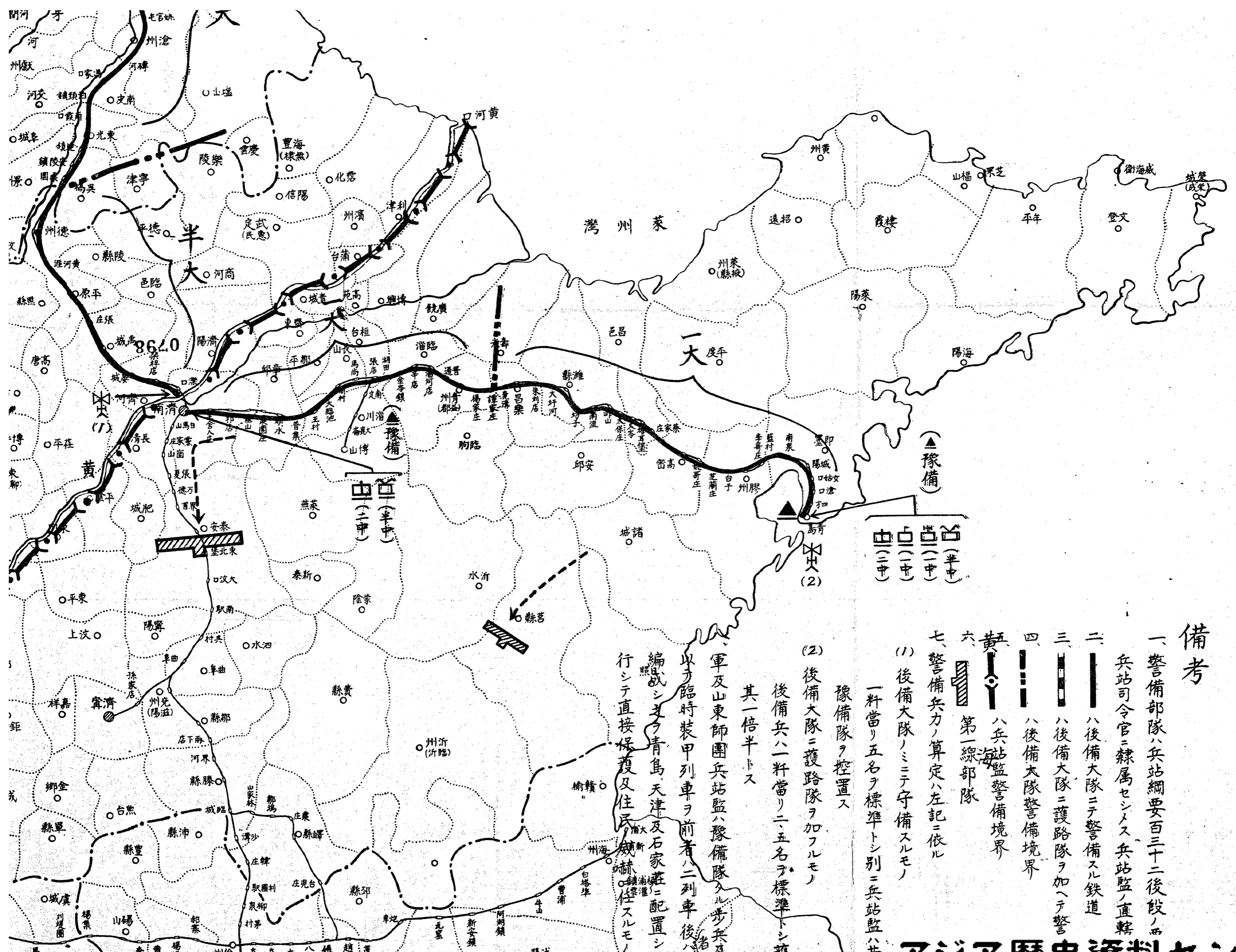
陣地高射砲 三隊






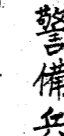
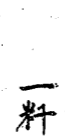
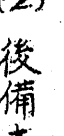
圖般一置配

(時達到線ノ南)





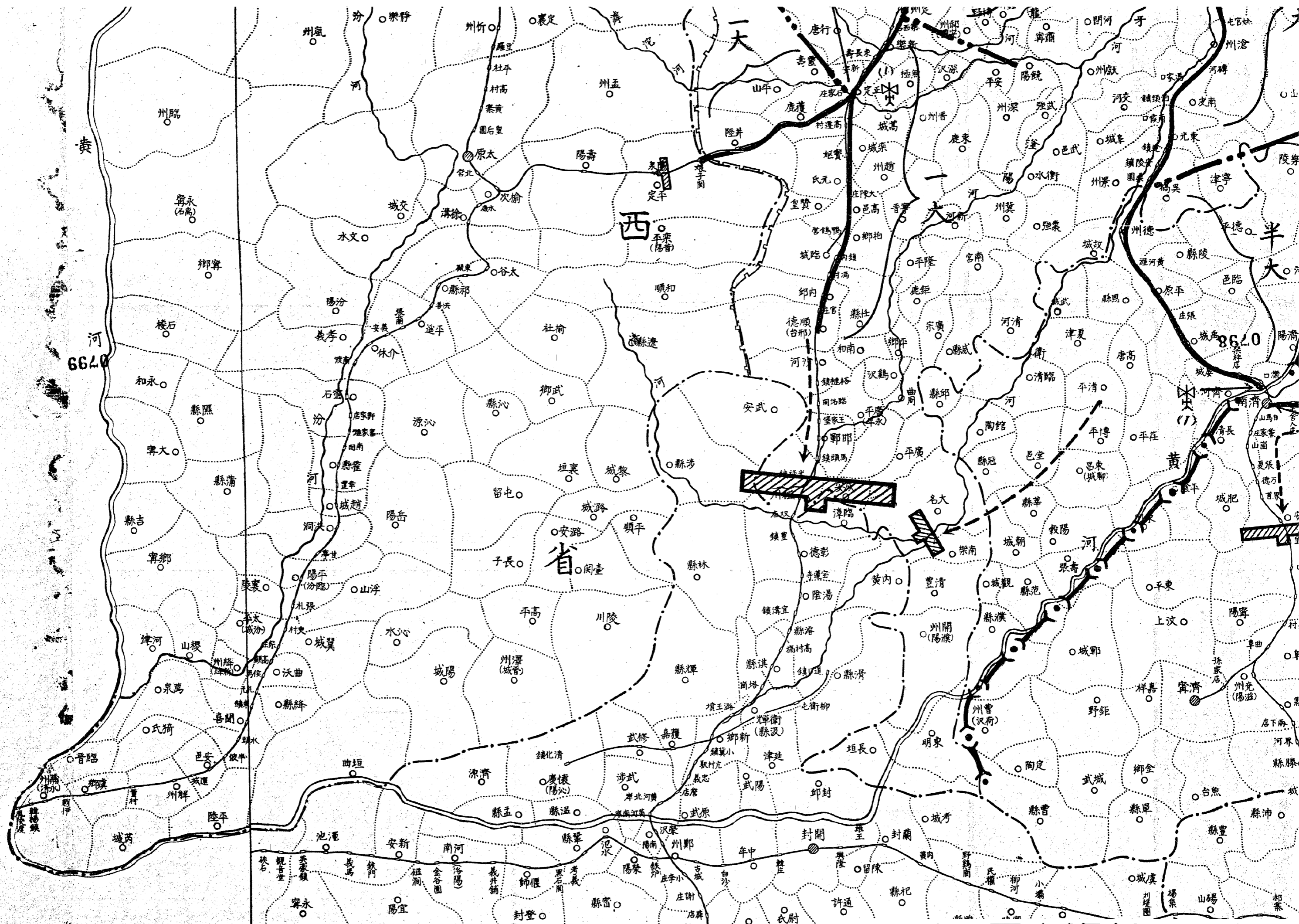
備考

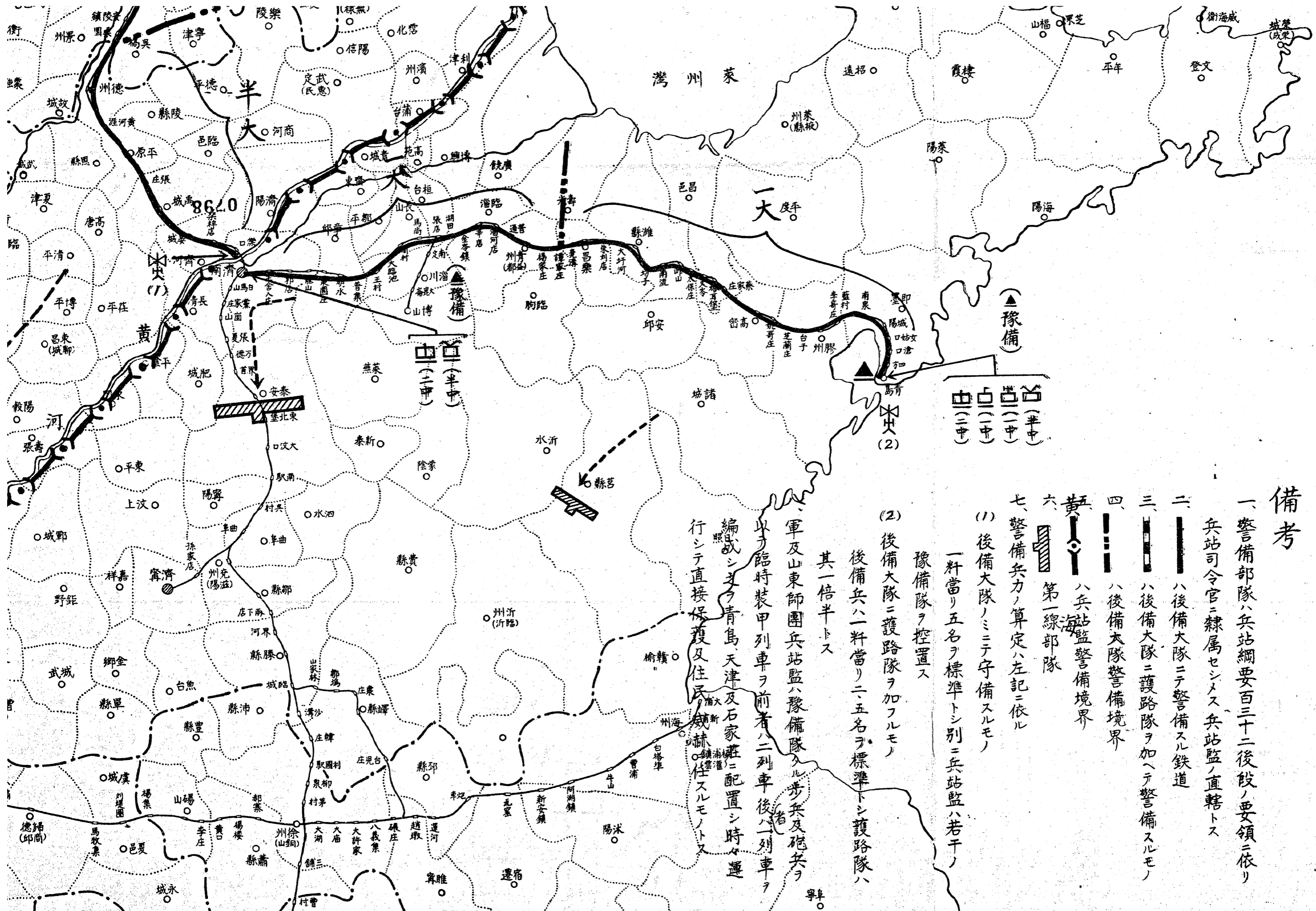
- 一、警備部隊ハ兵站網要百三十二後段ノ西
兵站司令官ニ隷屬セシメス 兵站監ノ直轄
- 二、 八後備大隊ニテ警備スル鉄道
- 三、 八後備大隊ニテ警備スル境界
- 四、 八兵站監警備境界
- 五、 第一線部隊
- 六、 七、警備兵力ノ算定ハ左記ニ依ル
- 七、 後備大隊ノミニテ守備スルモノ

(1) 後備大隊ヲ控置ス
 一料當リ五名ヲ標準トシ別ニ兵站監ハ若
 豫備隊ヲ控置ス






(2) 後備大隊ニ護路隊ヲ加フルモノ
 後備兵ハ一料當リ二五名ヲ標準トシ護
 其一倍半トス

軍及山東師團兵站監ハ豫備隊タル步兵及
 以テ臨時装甲列車ヲ前者ハ二列車後ハ一
 編成シテ青島天津及石家莊ニ配置シテ
 行シテ直接保護及住民ヲ任スルモノ

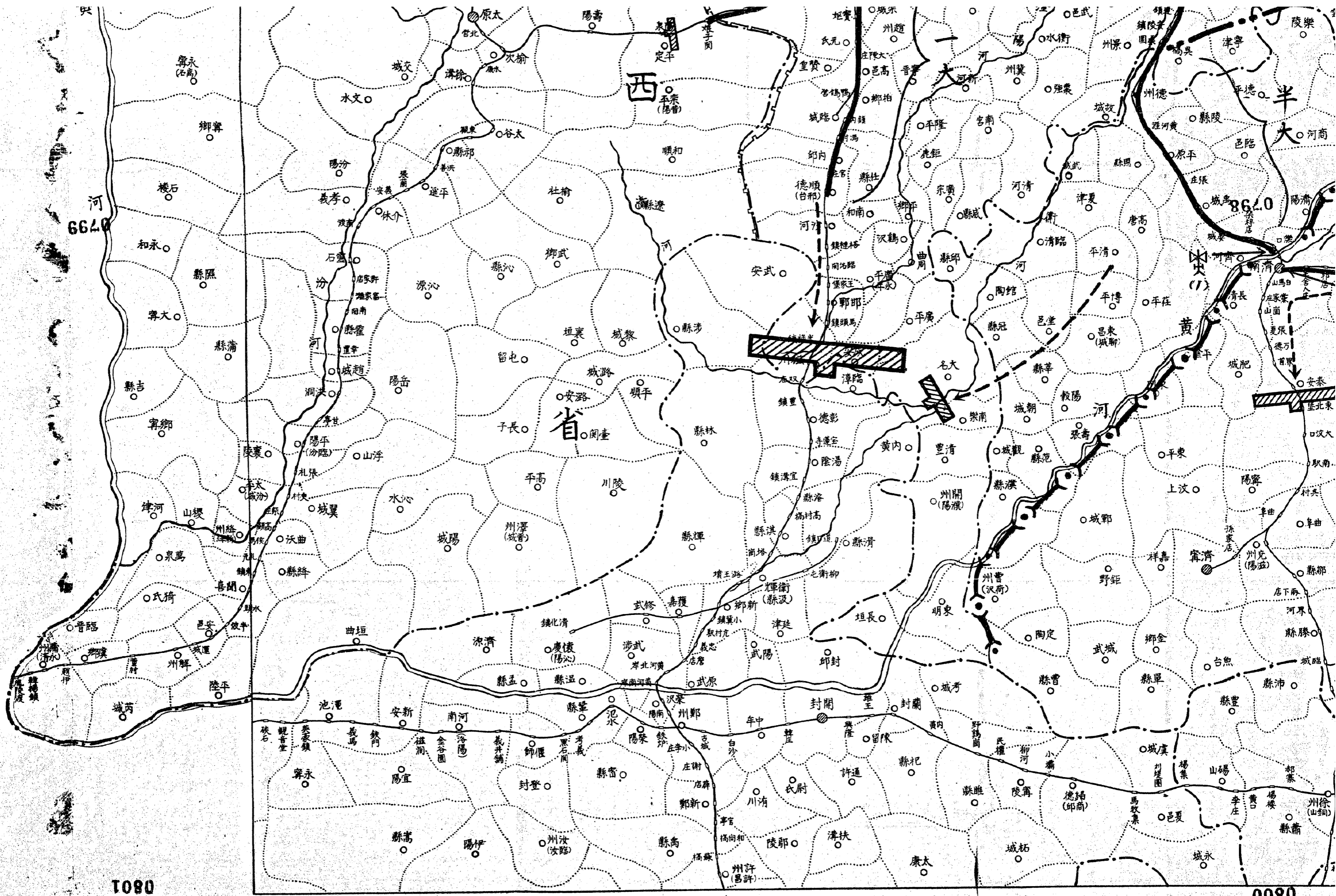




備考

- 一、警備部隊ハ兵站網要百三十二後段ノ要領ニ依リ
兵站司令官ニ隷屬セシメス、兵站監ノ直轄トス
- 二、 八後備大隊ニテ警備スル鉄道
- 三、 八後備大隊ニテ警備スル鉄道
- 四、 八後備大隊警備境界
- 五、 八兵站監警備境界
- 六、 第一線部隊
- 七、警備兵力ノ算定ハ左記ニ依ル
- (1) 後備大隊ノミニテ守備スルモノ
一料當リ五名ヲ標準トシ別ニ兵站監ハ若干ノ
豫備隊ヲ控置ス
- (2) 後備大隊ニ護路隊ヲ加フルモノ
後備兵ハ一料當リ二五名ヲ標準トシ護路隊ハ
其一倍半トス

軍及山東師團兵站監ハ豫備隊タル歩兵及砲兵ヲ
以テ臨時裝甲列車ヲ前者ハ二列車後ハ一列車ヲ
編成シテ青島天津及石家莊ニ配置シ時々運
行シテ直接保護及住民鎮懾任スルモノトス




0801

0880

2080

附圖第三其一

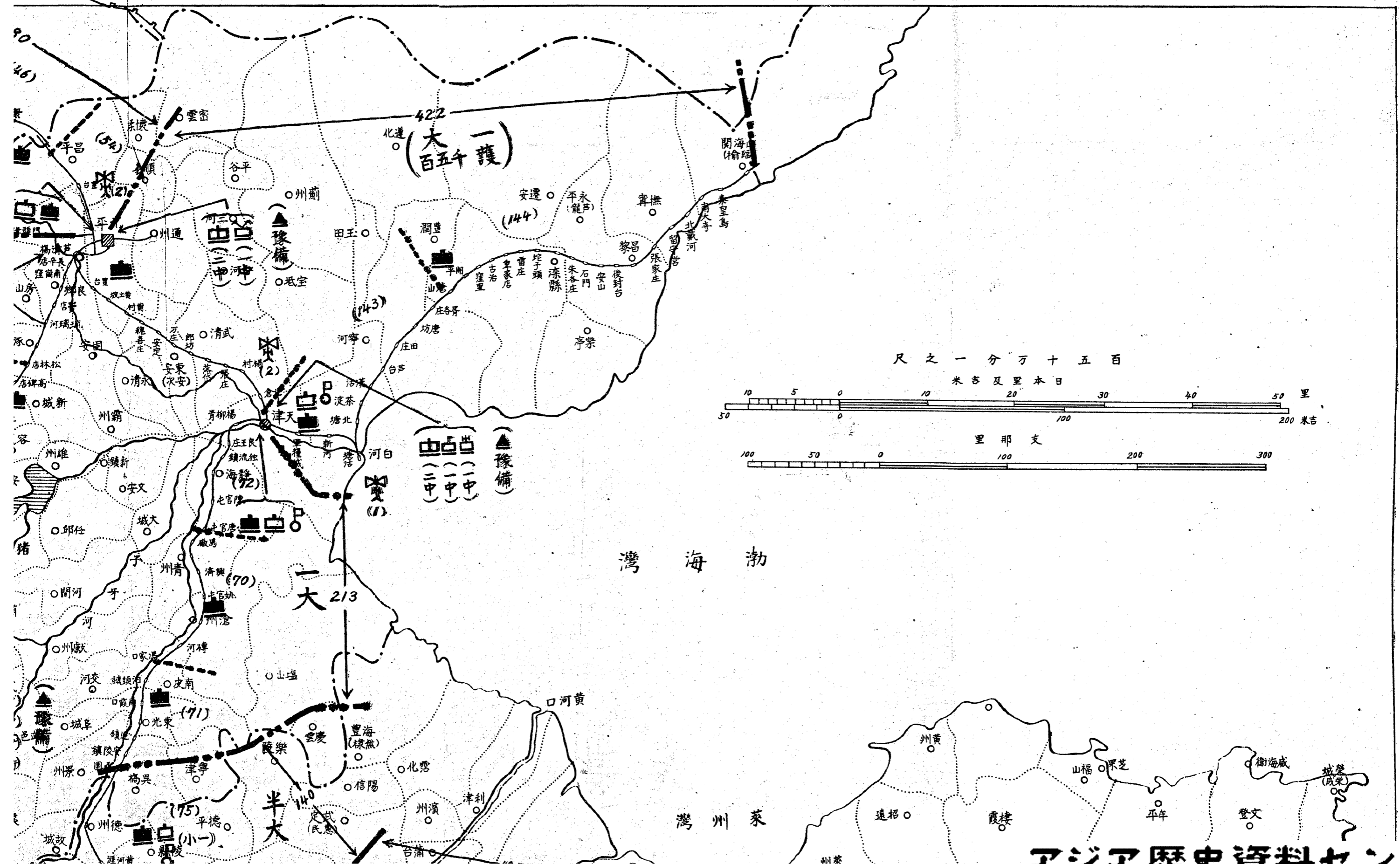
分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	<table border="1" data-bbox="518 448 1005 806"><tr><td>3</td><td>4</td></tr><tr><td>1</td><td>2</td></tr></table>	3	4	1	2
3	4				
1	2				
分割撮影 した 理 由	A 3 判以上のため				
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>8 年 12 月 10 日</p> <p>主務者又は 撮影立会者 坂根嘉和 </p>					

8080

警備部隊配置圖

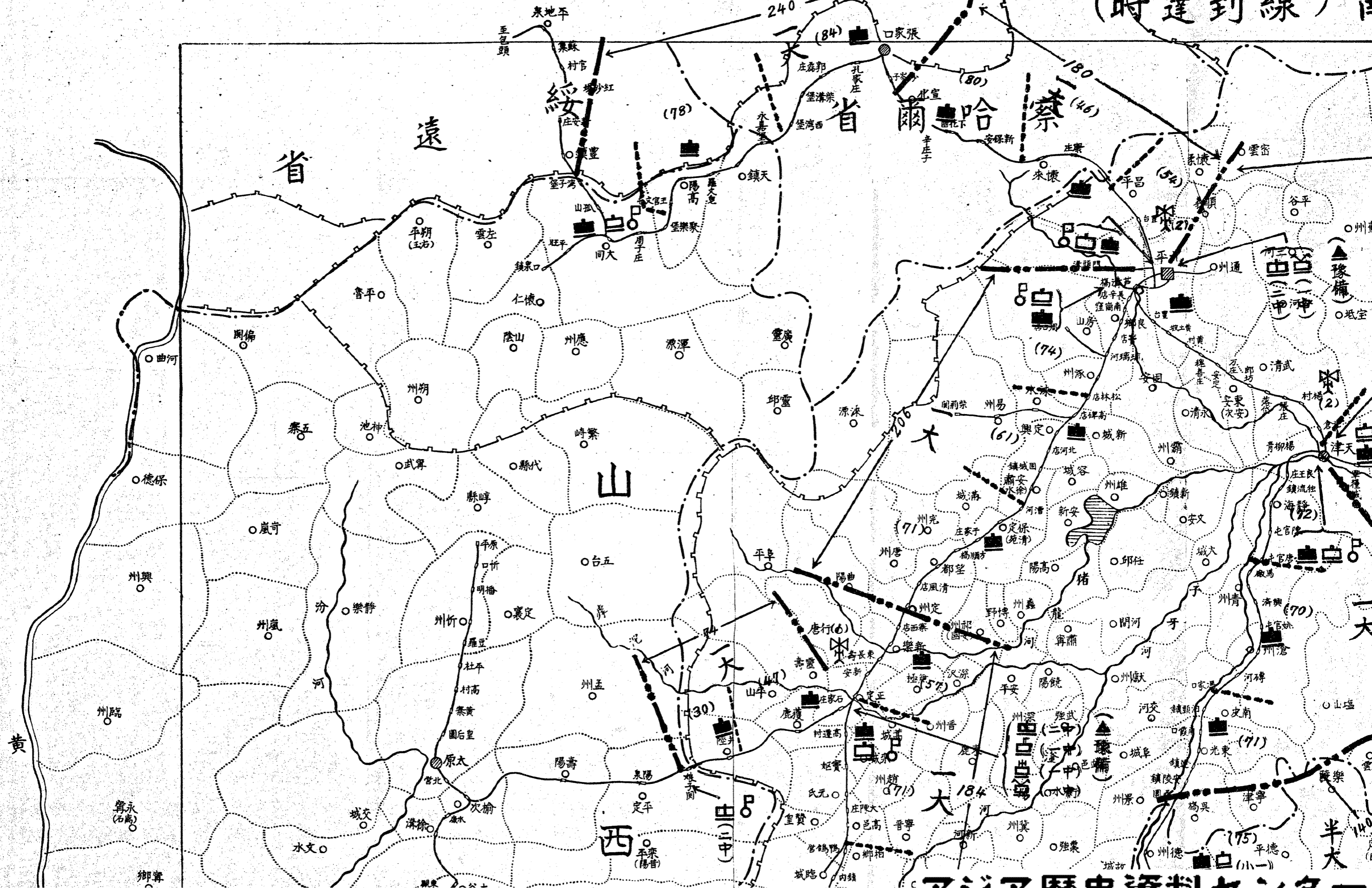
(第一線德濟南) (第一線彰德濟南)

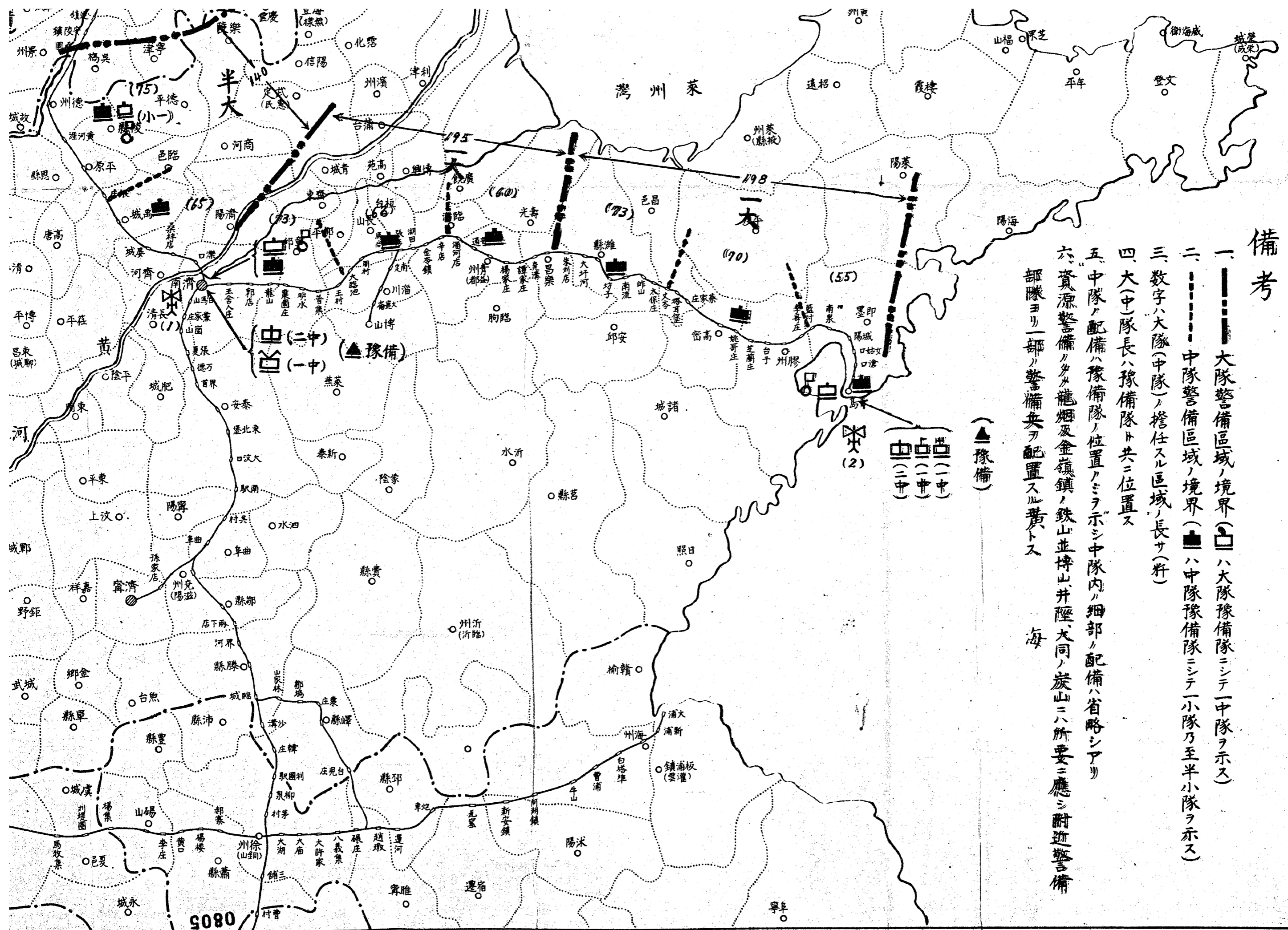


附圖第二其二

定配置圖

(時達到線)



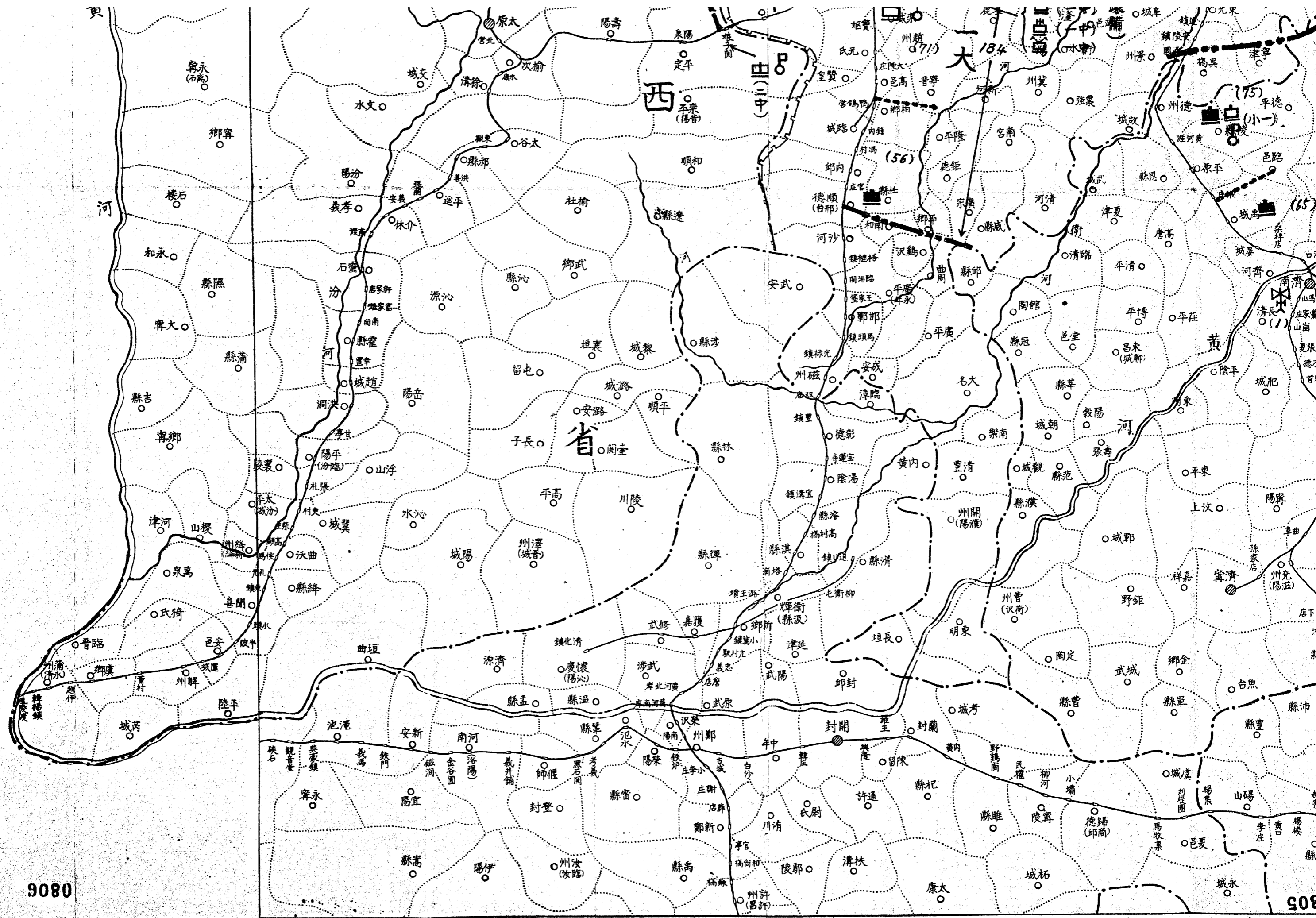


備考

- 一、—— 大隊警備區域ノ境界 (□) 八大隊豫備隊ニシテ一中隊ヲ示ス
- 二、- - - - 中隊警備區域ノ境界 (■) 八中隊豫備隊ニシテ一小隊乃至半小隊ヲ示ス
- 三、数字八大隊(中隊)ノ擔任スル區域ノ長サ(料)
- 四、大(中)隊長八豫備隊ト共ニ位置ス
- 五、中隊ノ配備ハ豫備隊ノ位置ノミヲ示シ中隊内ノ細部ノ配備ハ省略シアリ
- 六、資源警備ノ多ク龍烟及金嶺鎮ノ鉄山並博山并陘大同ノ炭山ニハ所要ニ應ジ附近警備部隊ヨリ一部ノ警備兵力配置スル黄トス

(▲) 豫備

□ (一) 中
 □ (二) 中
 □ (三) 中



184

西

省


9080

3085

7-9080

附圖第一其二

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影順序	<table border="1" data-bbox="523 450 999 808"><tr><td>3</td><td>4</td></tr><tr><td>1</td><td>2</td></tr></table>	3	4	1	2
3	4				
1	2				
分割撮影 した 理由	A 3判以上のため				
上記のとおり分割撮影したことを 証明する 8 年 12 月 10 日 主務者又は 撮影立会者 坂根嘉和 					

警備部隊定配置一殺

(時達到二線海隴線一第)

附圖第二其三

警備兵力

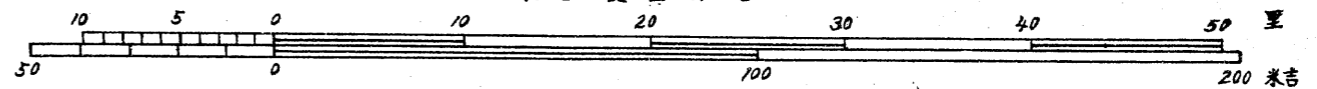
軍兵站監所屬

山東師團兵站監所屬

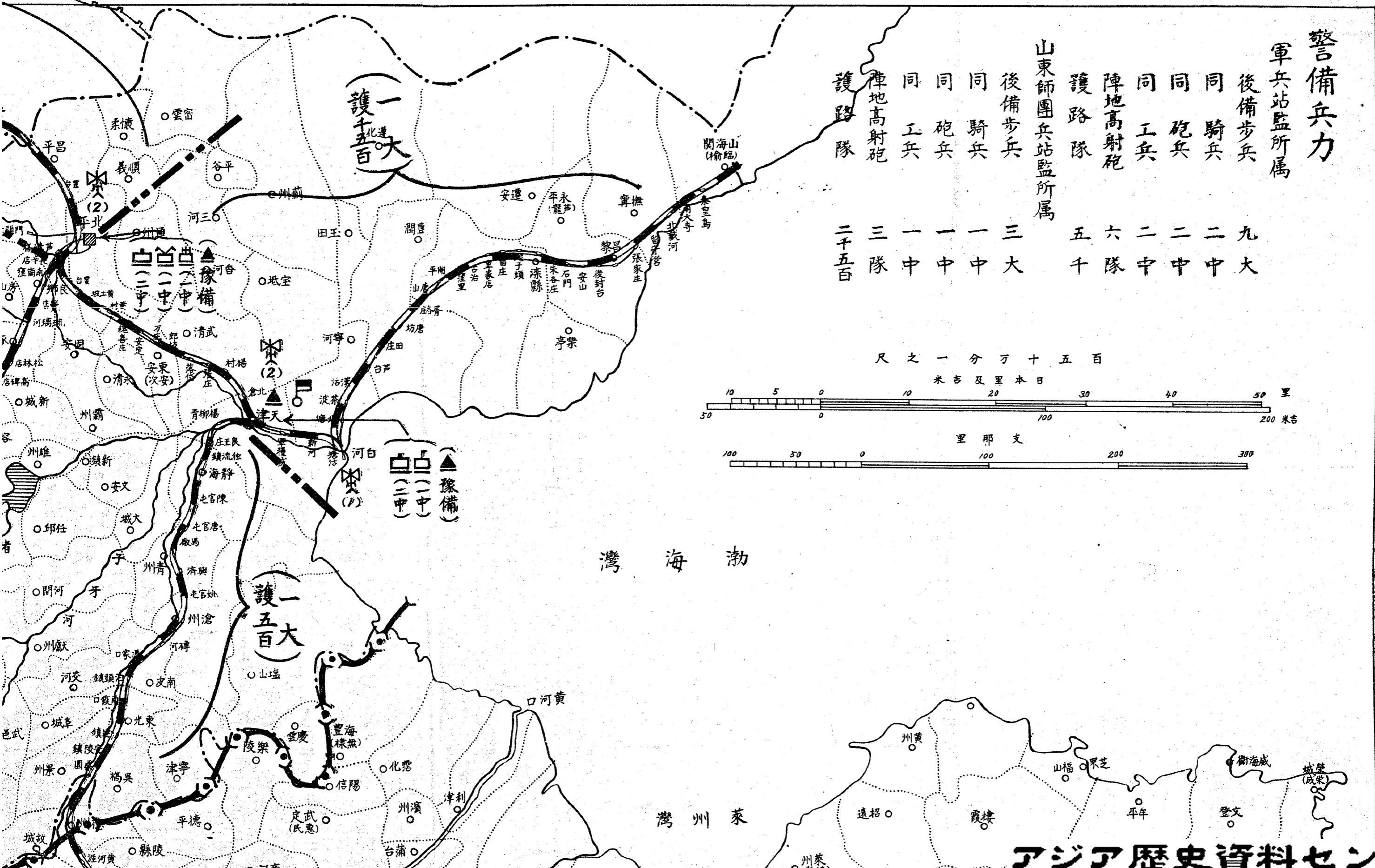
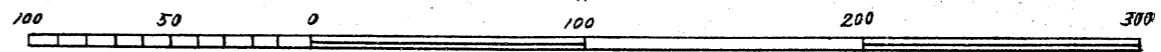
後備步兵	同 騎兵	同 砲兵	同 工兵	陣地高射砲	護路隊	後備步兵	同 騎兵	同 砲兵	同 工兵	陣地高射砲	護路隊
九 大	二 中	二 中	二 中	六 隊	五 千	三 大	一 中	一 中	一 中	三 隊	二 千 五 百

尺之一分万十五百

米吉及里本日

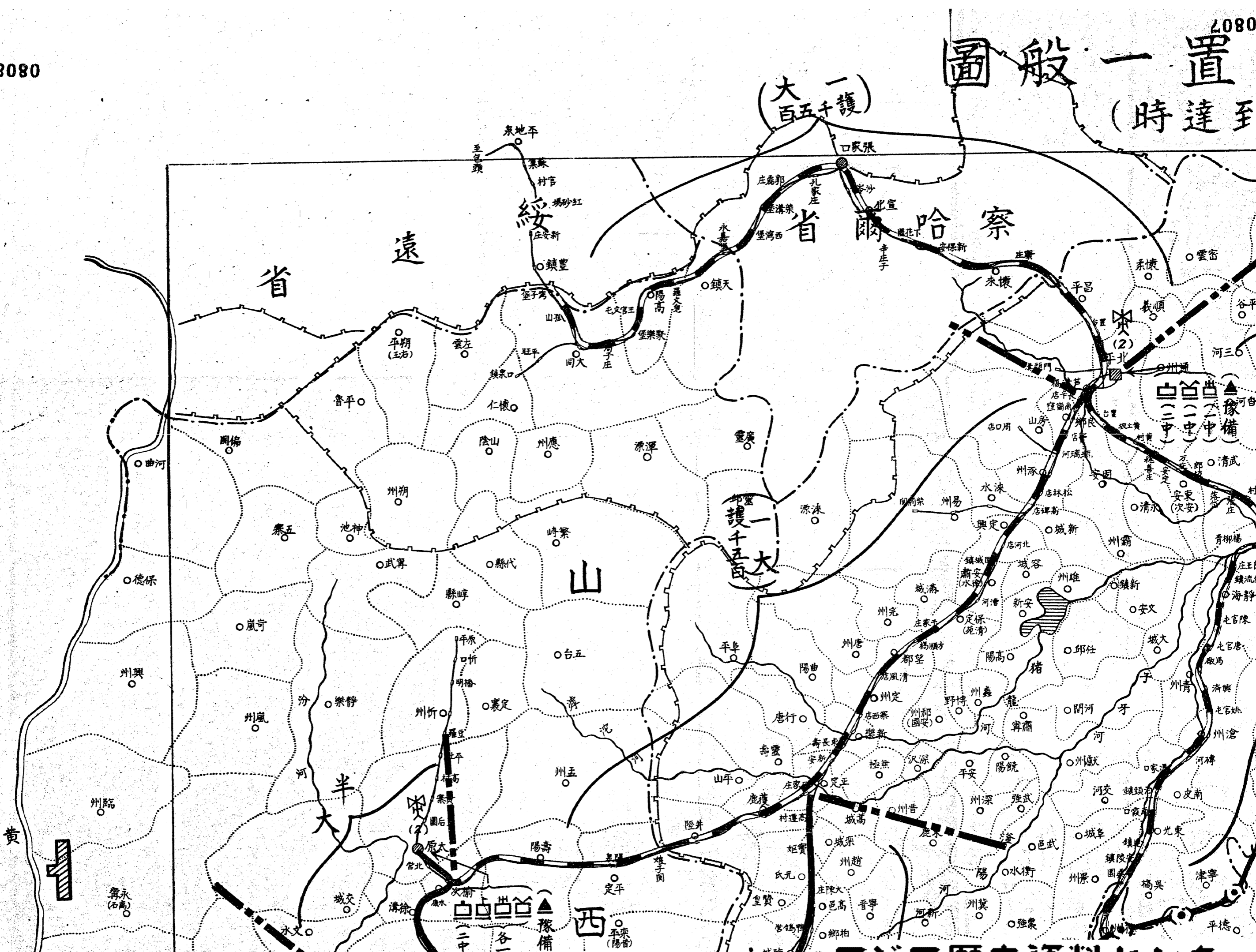


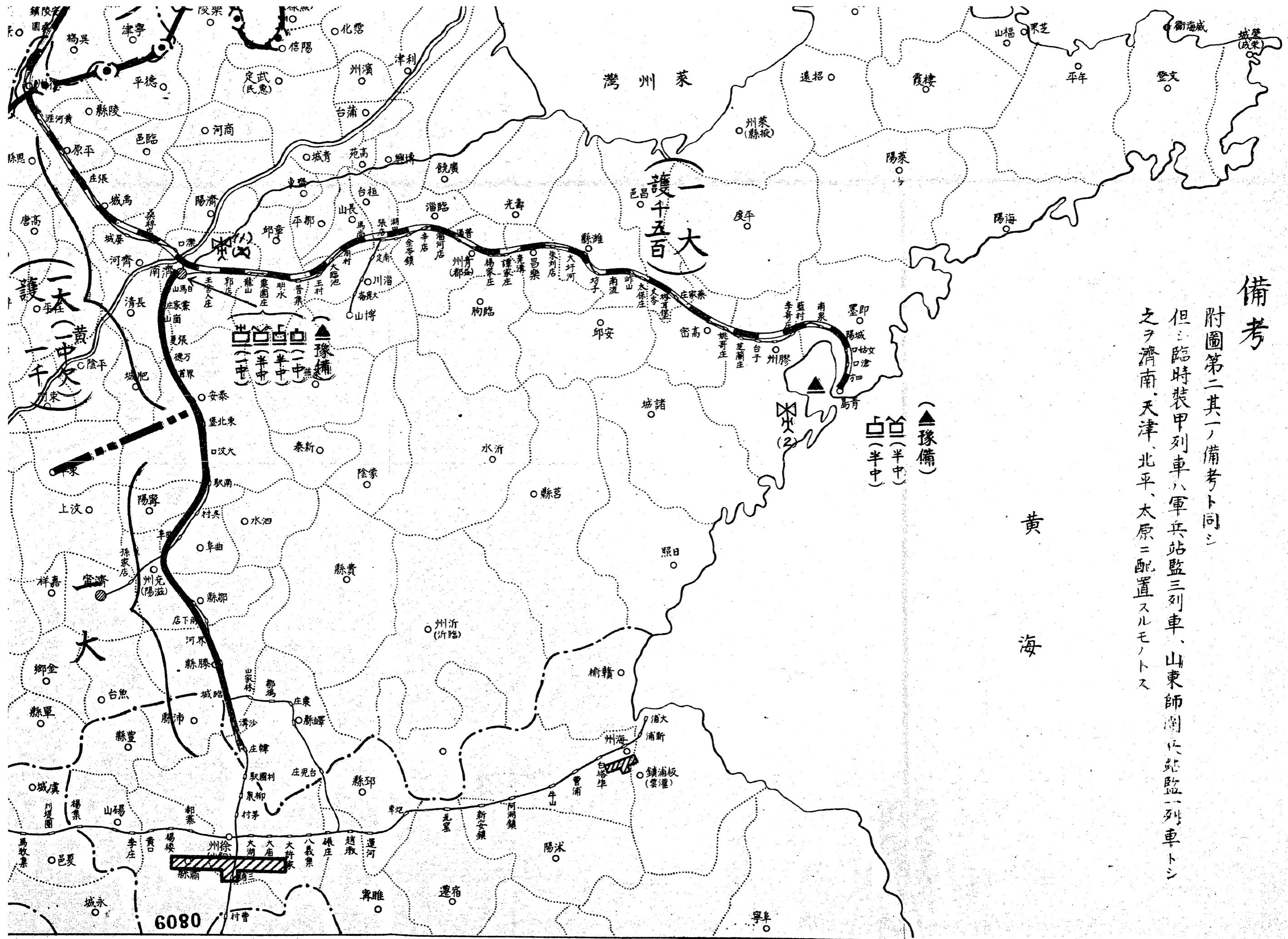
里那支



圖般一置 (時達到)

(大護五千百)



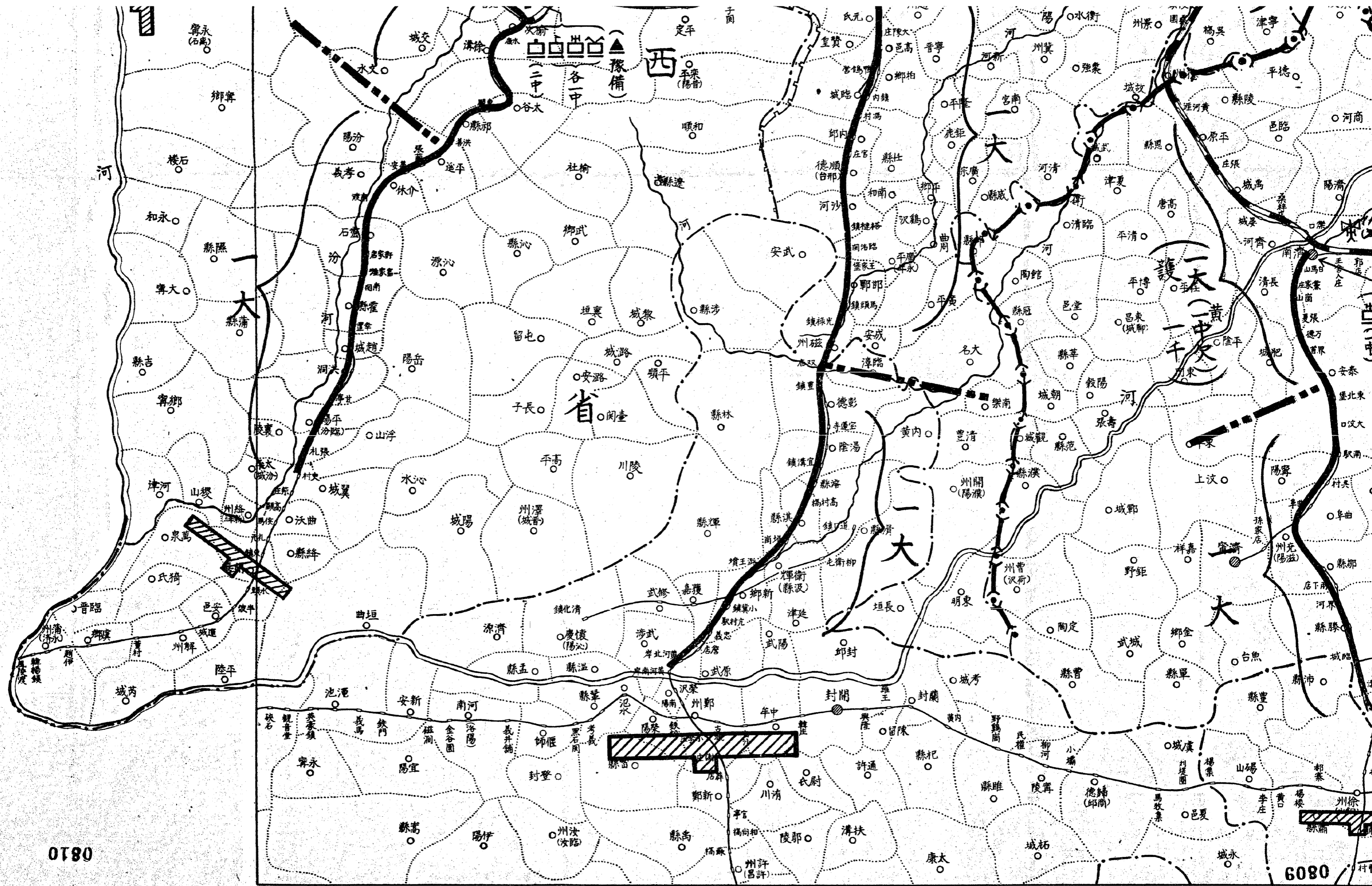


備考

附圖第二其ノ備考ト同シ
 但ニ臨時装甲列車ハ軍兵站監三列車、山東師團兵站監二列車トシ
 之ヲ濟南、天津、北平、太原ニ配置スルモノトス

黄
海


(▲豫備)
 □(半中)
 □(半中)



0810

6080

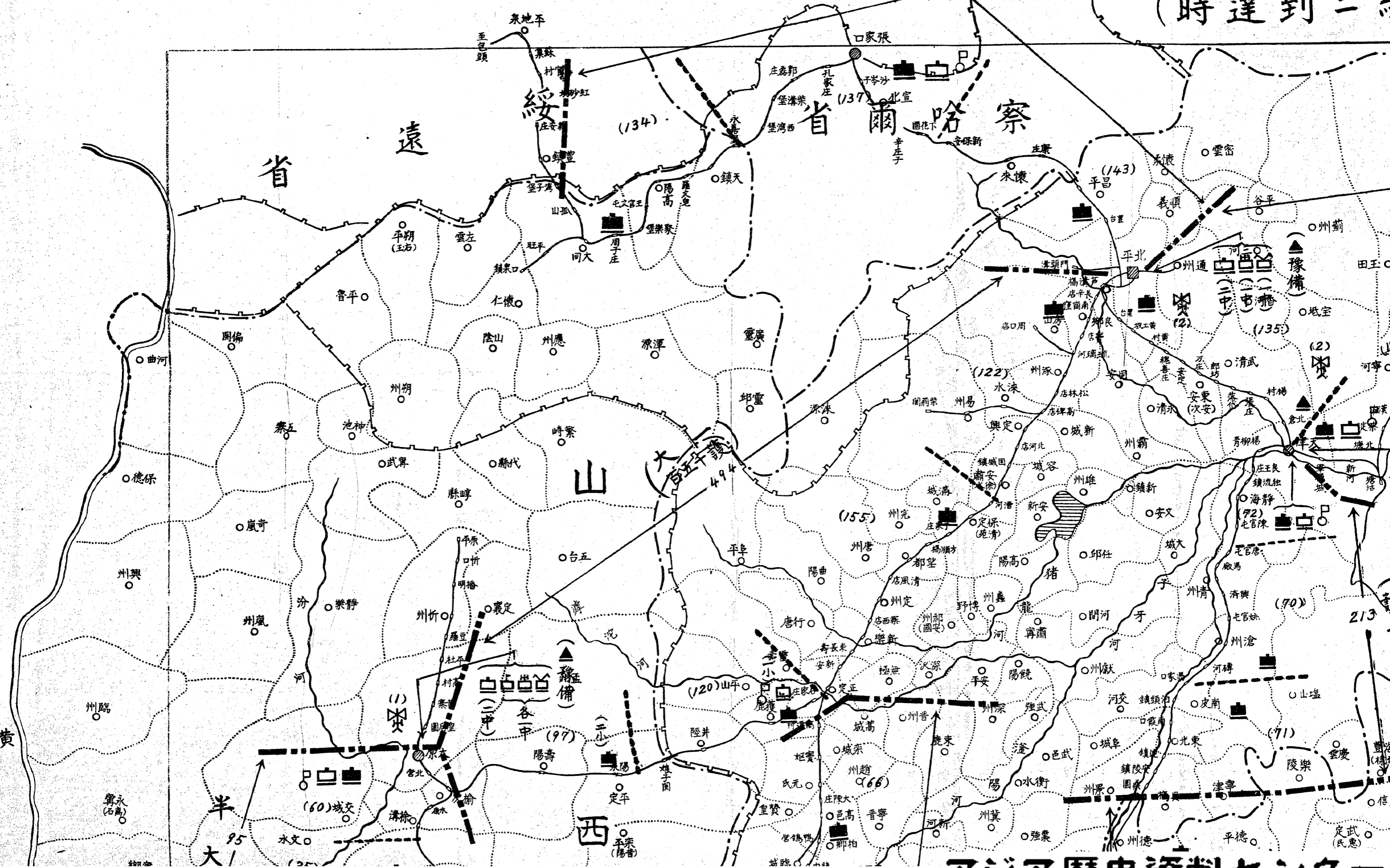
分割撮影ターゲット

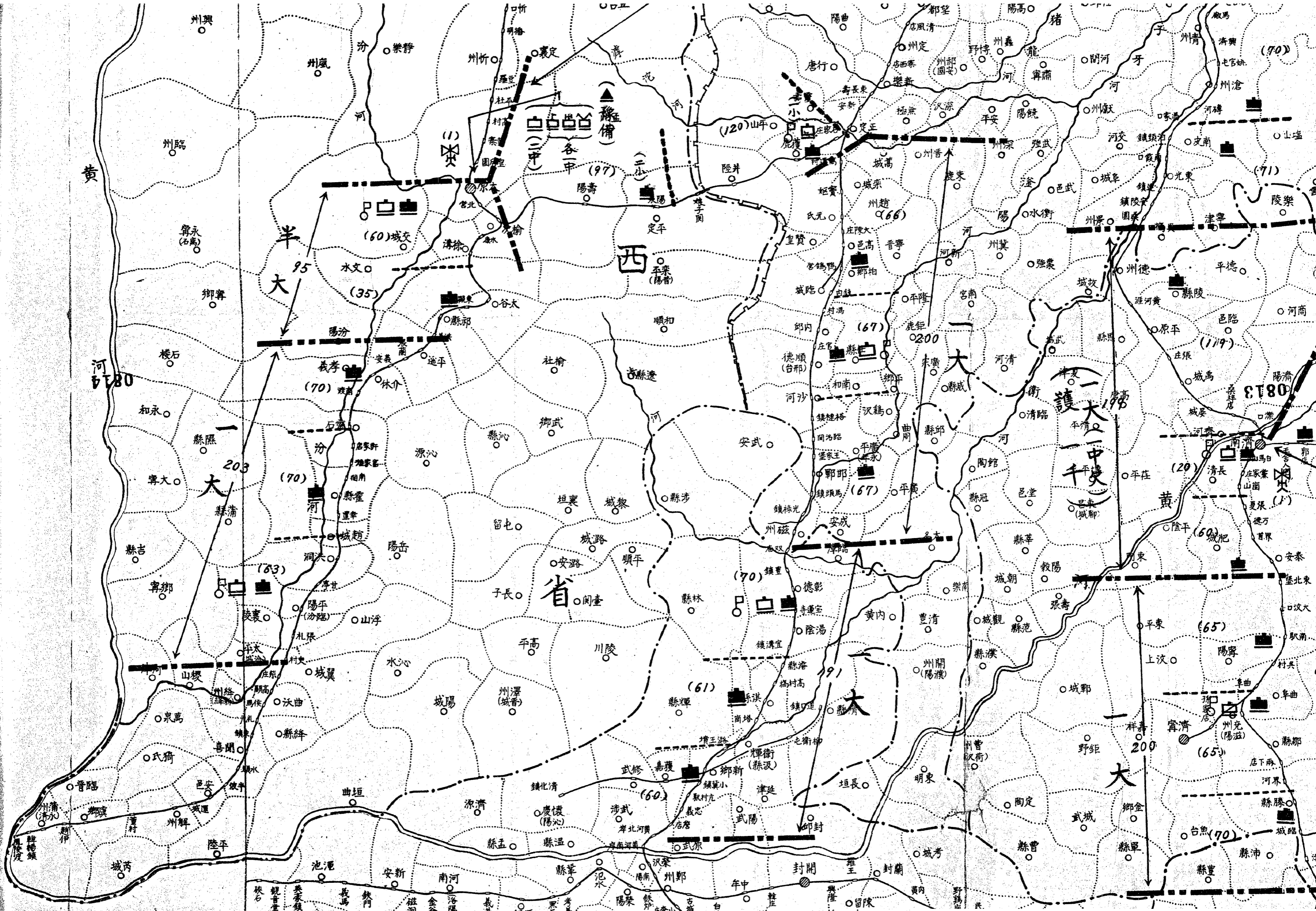
分割した 部分の撮 影順序	<table border="1" data-bbox="549 465 880 831"><tr><td>5</td><td>6</td></tr><tr><td>3</td><td>4</td></tr><tr><td>1</td><td>2</td></tr></table>	5	6	3	4	1	2
5	6						
3	4						
1	2						
分割撮影 した 理由	A 3判以上のため						
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>8 年 12 月 10 日</p> <p>主務者又は 撮影立会者 坂根嘉和 </p>							

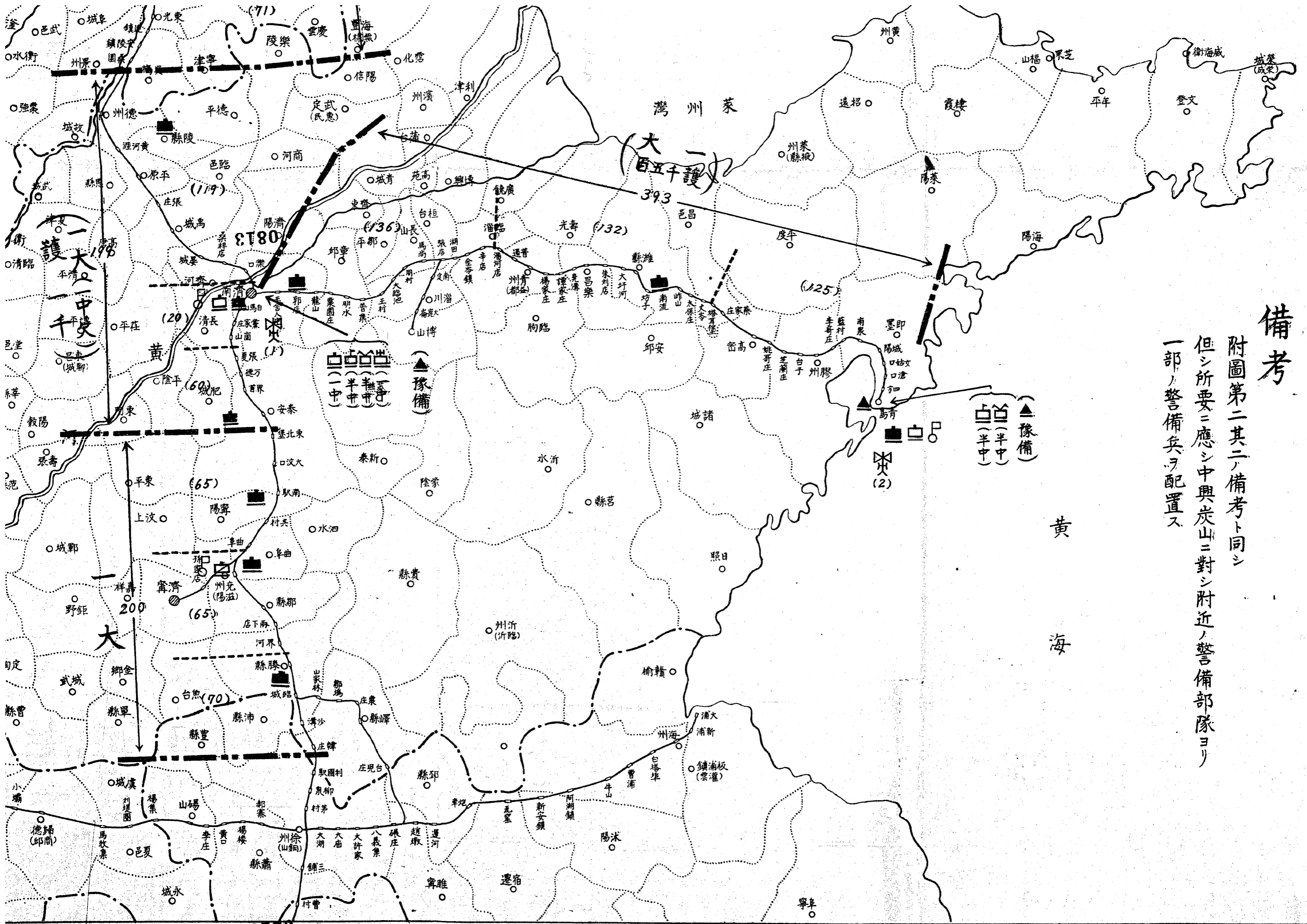
定配置要圖 (時達到二)

180

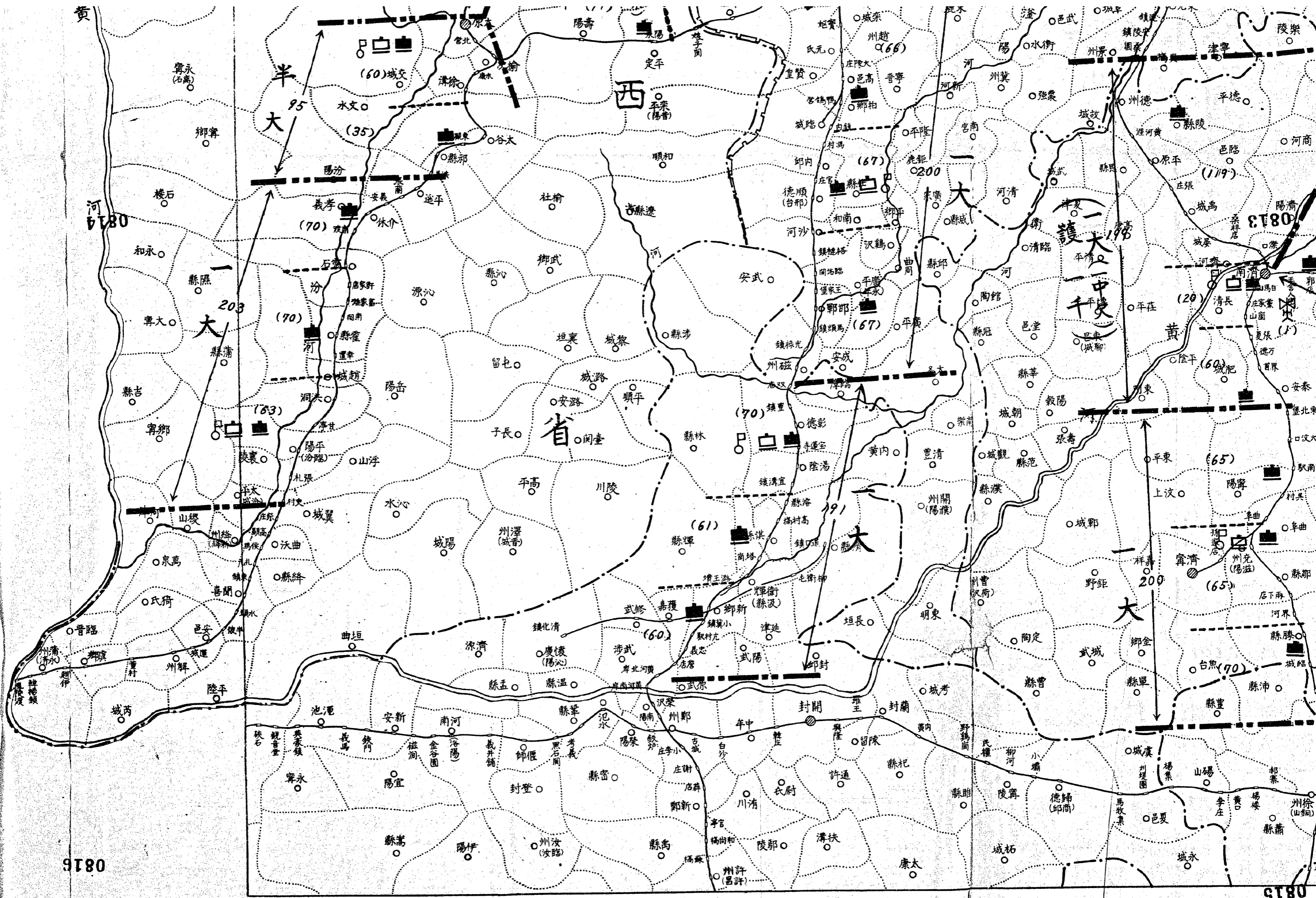
(大百五千護) 414








附圖第二其二ノ備考ト同シ
 但シ所要ニ應シ中興炭山ニ對シ附近ノ警備部隊ヨリ
 一部ノ警備兵ヲ配置ス

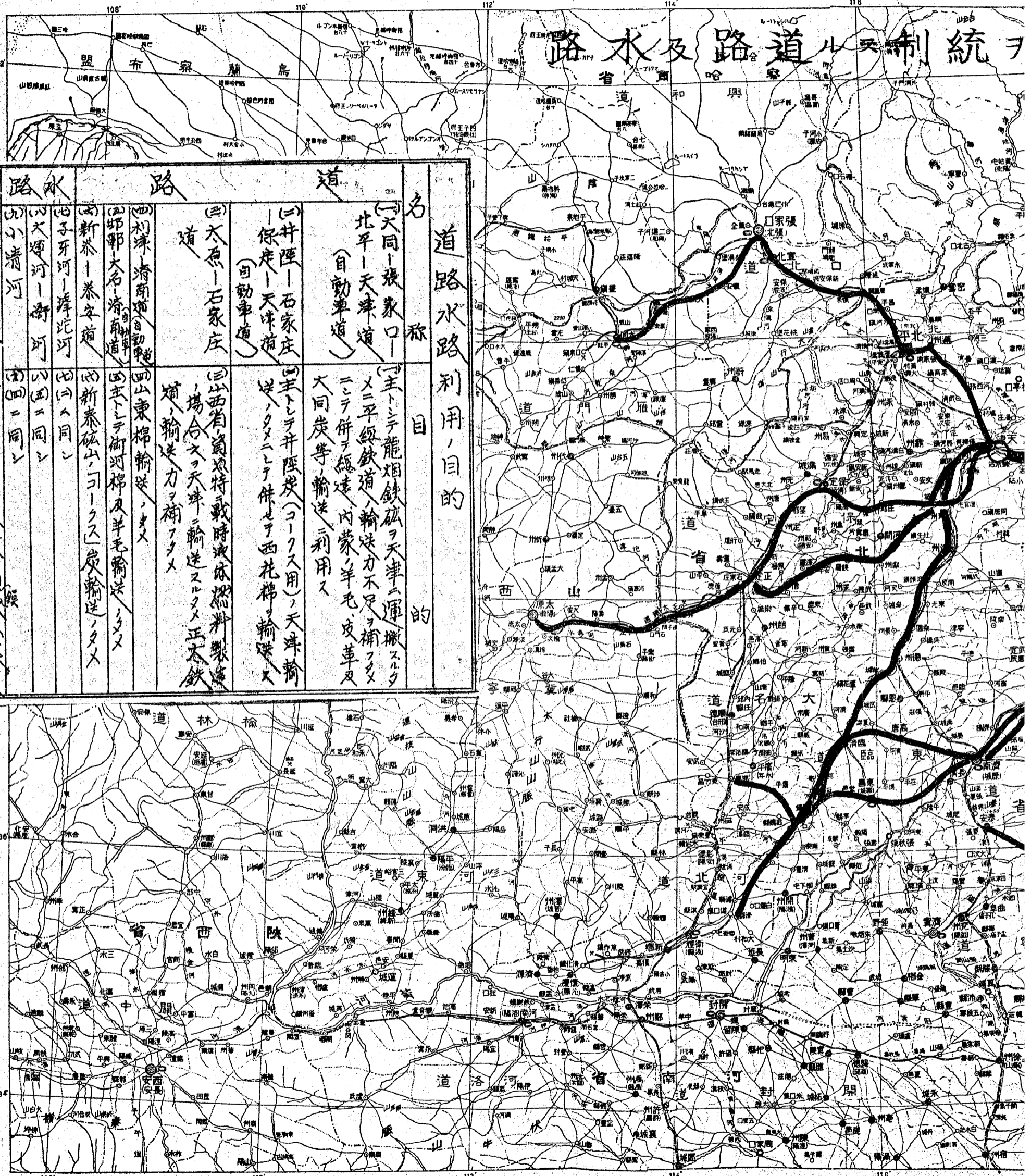


分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影順序	<table border="1" data-bbox="550 465 858 817"><tr><td data-bbox="550 465 858 645">2</td></tr><tr><td data-bbox="550 645 858 817">1</td></tr></table>	2	1
2			
1			
分割撮影 した 理由	A 3判以上のため		
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>8 年 12 月 10 日</p> <p>主務者又は 撮影立会者 坂根嘉和 </p>			

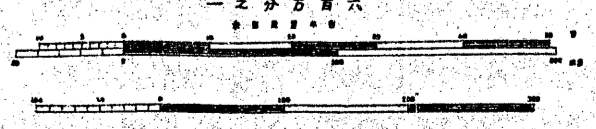
北支地圖

統制及交通水路及道路



備考	水路	道路	名目
開張黑山及中興、コークス区用炭並金鋼鉄礦鉄道、近傍ナタメ輸送、タメ特殊道路、必要ナシ、塩、輸送之亦然。	(一) 大清河 (二) 大運河—衛河 (三) 子牙河—漳沔河 (四) 新泰—泰寧道 (五) 邯鄲大名—濟南道 (六) 利津—濟南道(自動車道)	(一) 大同—張家口—北平—天津道(自動車道) (二) 井陘—石家莊—保定—天津道(自動車道) (三) 太原—石家莊 (四) 山東棉輸送、タメ (五) 山西省貨物特載時液体燃料製造場、合テ天津ニ輸送スルタメ、正大鐵道、輸送力ヲ補フタメ (六) 山西省貨物特載時液体燃料製造場、合テ天津ニ輸送スルタメ、正大鐵道、輸送力ヲ補フタメ	(一) 主トシテ龍烟鐵礦ヲ天津ニ運搬スルタメ、平級鐵道、輸送力不足ヲ補フタメ、ニテ併テ綏遠、内蒙、羊毛、皮革及大同炭等、輸送ニ利用ス (二) 主トシテ井陘炭(コークス用)ノ天津輸送、タメ、ニテ併テ西花棉ヲ輸送ス


0817 0818

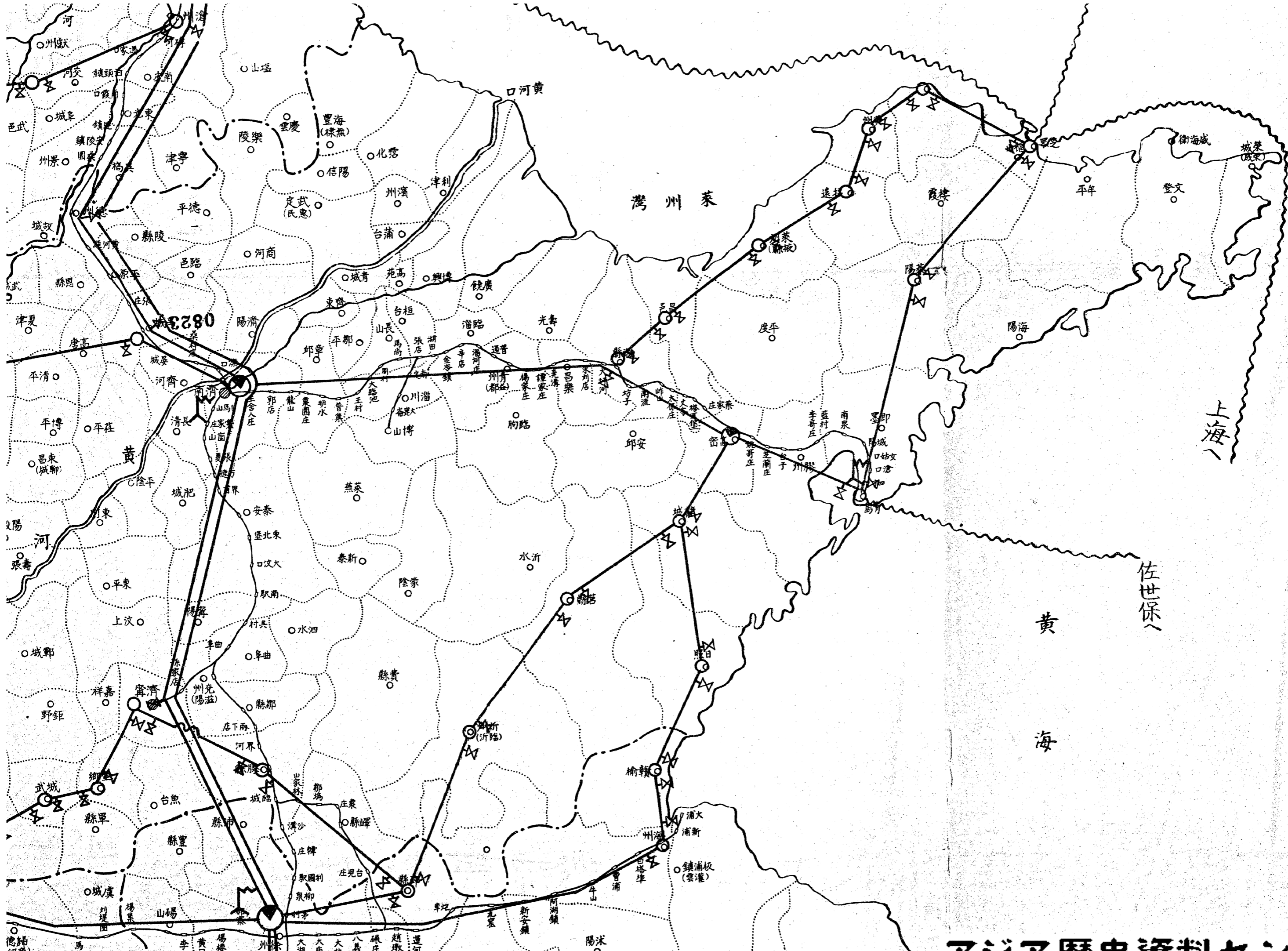


0820

附
圖
第
四

分割撮影ターゲット

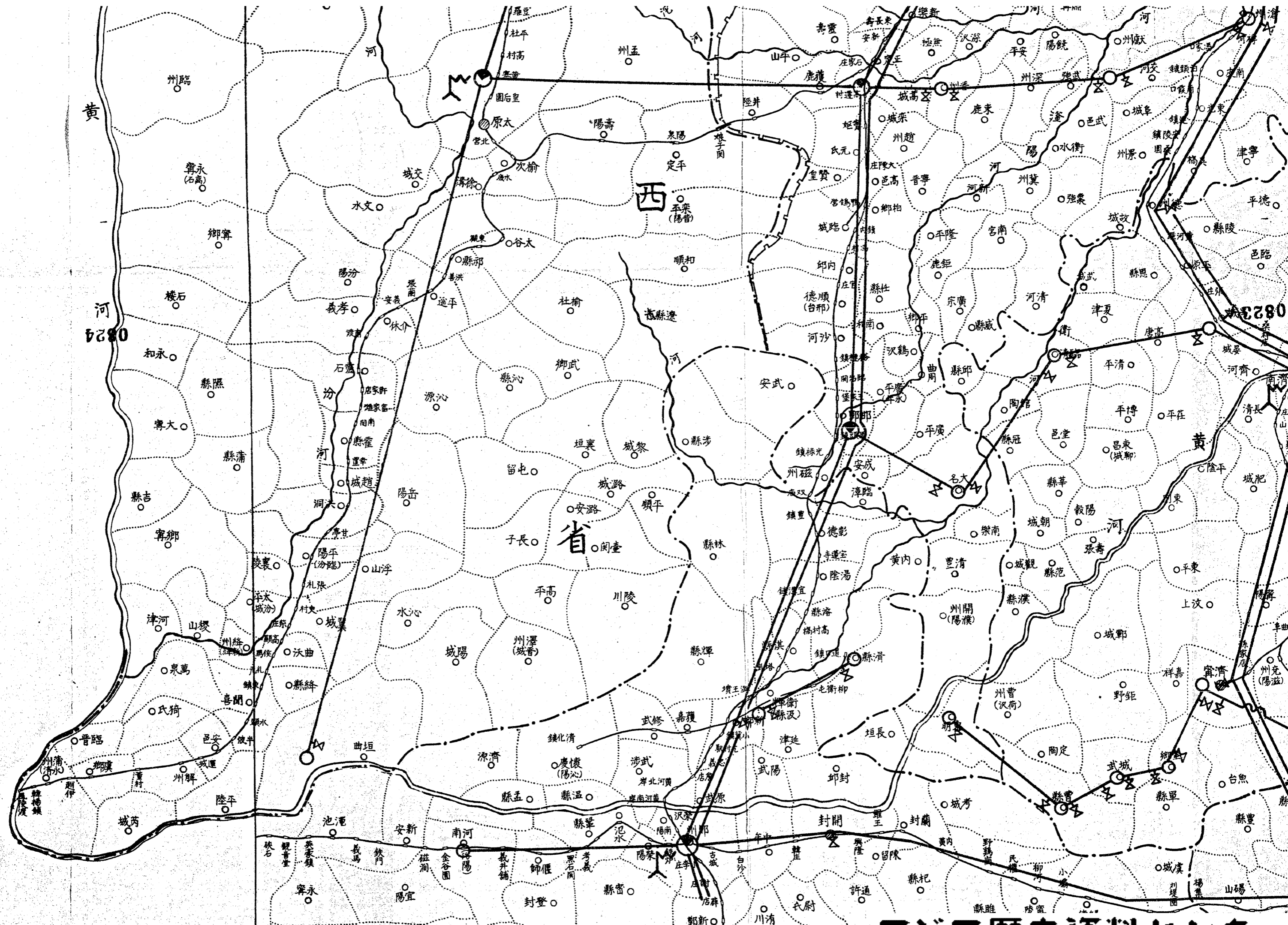
分割した 部分の撮 影順序	<table border="1" data-bbox="603 454 922 813"><tr><td>5</td><td>6</td></tr><tr><td>3</td><td>4</td></tr><tr><td>1</td><td>2</td></tr></table>	5	6	3	4	1	2
5	6						
3	4						
1	2						
分割撮影 した 理由	A 3判以上のため						
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>8 年 12 月 10 日</p> <p>主務者又は 撮影立会者 坂根嘉和 </p>							



上海

佐世保

黄
海



黄

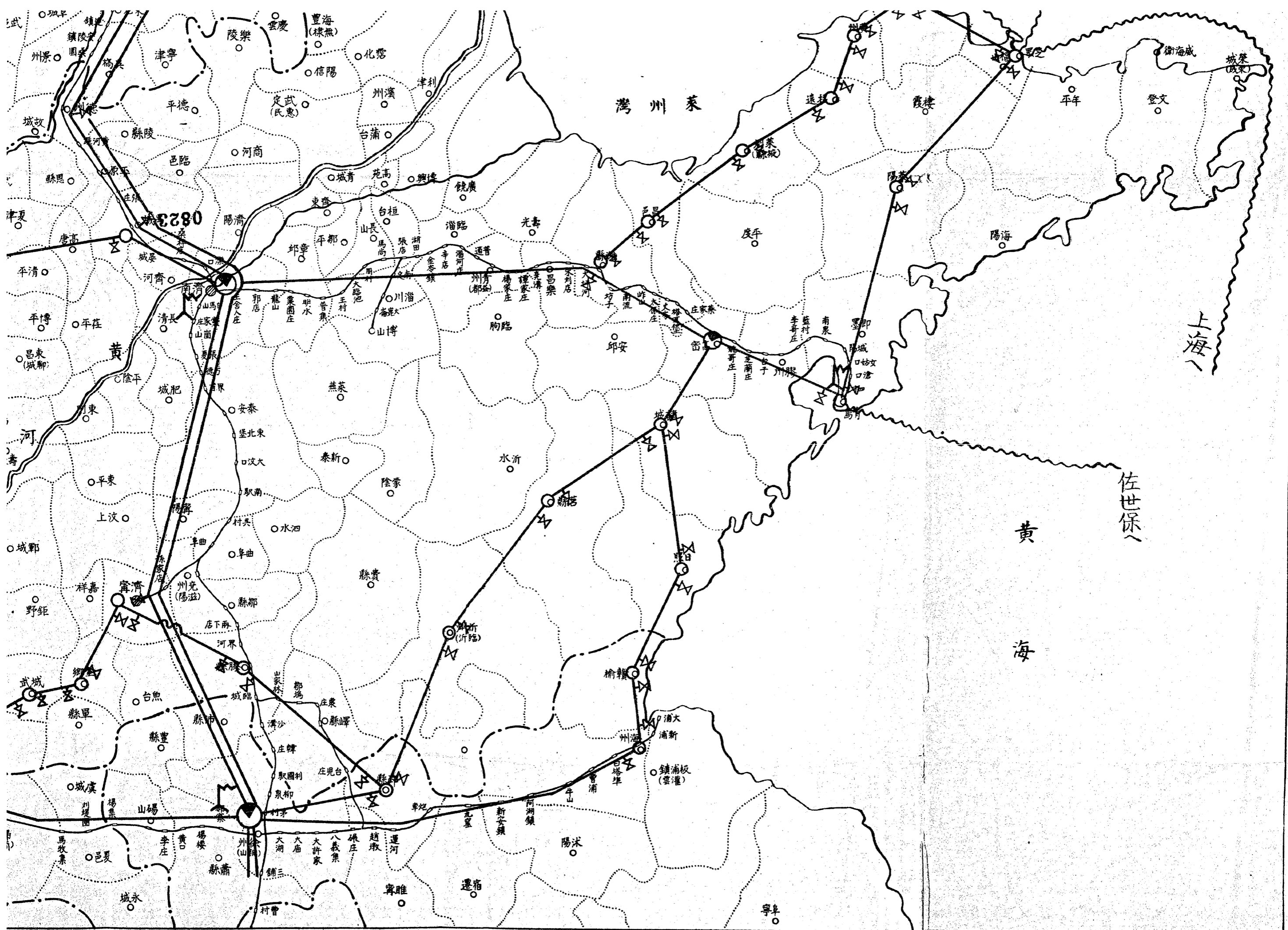
河

西

省

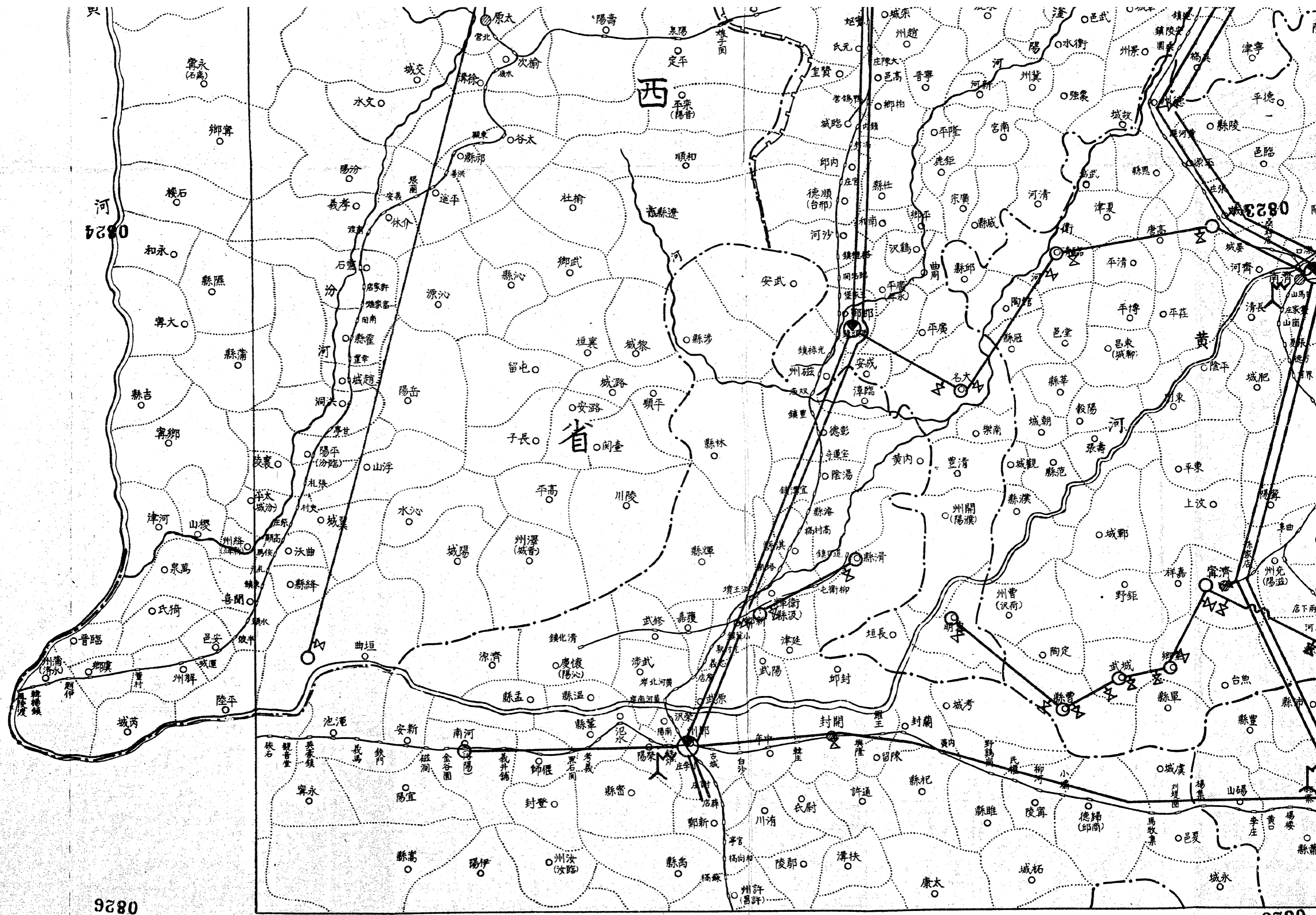
黄

河



082380

0825



08280

08280

082380

0825